

(様式第 10)

長大総第 537号
平成 26 年 10 月 2 日

九州厚生局長 殿

開設者名 国立大学法人
長崎大学長 片峰 茂 (印)

長崎大学病院の業務に関する報告について

標記について、医療法（昭和 23 年法律第 205 号）第 12 条の 3 の規定に基づき、平成 25 年度の業務
に関して報告します。

記

1 開設者の住所及び氏名

住 所	〒852-8521 長崎市文教町 1-14
氏 名	国立大学法人 長崎大学

(注) 開設者が法人である場合は、「住所」欄には法人の主たる事務所の所在地を、「氏名」欄には
法人の名称を記入すること。

2 名 称

国立大学法人 長崎大学病院

3 所在の場所

〒852-8501 長崎市坂本 1 丁目 7 番 1 号	電話(095)819-7200
---------------------------------	-----------------

4 診療科名

4-1 標榜する診療科名の区分

① 医療法施行規則第六条の四第一項の規定に基づき、十六診療科名すべてを標榜 2 医療法施行規則第六条の四第四項の規定に基づき、がん、循環器疾患等の疾患に関し、高度か つ専門的な医療を提供する特定機能病院として、十以上の診療科名を標榜
--

(注) 上記のいずれかを選択し、番号に○印を付けること。

4-2 標榜している診療科名

(1) 内科

内科	(有) ・ 無
内科と組み合わせた診療科名等	
1 消化器内科 2 呼吸器内科 3 循環器内科 4 血液内科 5 内分泌・代謝内科 6 腎臓内科 7 神経内科 8 感染症内科 9 リウマチ科 10 脳神経内科 11 12 13 14	
診療実績	

(注) 1 「内科」欄及び「内科と組み合わせた診療科名等」欄については、標榜している診療科名に
ついて記入すること。

(注) 2 「リウマチ科」及び「アレルギー科」についても、「内科と組み合わせた診療科等」欄に記
入すること。

(注) 3 「診療実績」欄については、医療法施行規則第六条の四第三項の規定により、他の診療科で
医療を提供している場合に記入すること。

(2) 外科

外科	(有) ・ 無
外科と組み合わせた診療科名	
1 心臓血管外科 2 形成外科 3 消化器外科 4 呼吸器外科 5 小児外科 6 乳腺・内分泌外科 7 移植外科 8 9 10 11 12 13 14	
診療実績	

(注) 1 「外科」欄及び「外科と組み合わせた診療科名」欄については、標榜している診療科名について記入すること。

(注) 2 「診療実績」欄については、医療法施行規則第六条の四第三項の規定により、他の診療科で医療を提供している場合に記入すること。

(3) その他の標榜していることが求められる診療科名

1精神科 2小児科 3整形外科 4脳神経外科 5皮膚科 6泌尿器科 7産婦人科 8産科 9婦人科 10眼科 11耳鼻咽喉科 12放射線科 13放射線診断科 14放射線治療科 15麻酔科 16救急科
--

(注) 標榜している診療科名の番号に○印を付けること。

(4) 歯科

歯科	(有) ・ 無
歯科と組み合わせた診療科名	
1 小児歯科 2 矯正歯科 3 歯科口腔外科 4 5 6 7	
歯科の診療体制	

(注) 1 「歯科」欄及び「歯科と組み合わせた診療科名」欄については、標榜している診療科名について記入すること。

(注) 2 「歯科の診療体制」欄については、医療法施行規則第六条の四第五項の規定により、標榜している診療科名として「歯科」を含まない病院については記入すること。

(5) (1)～(4)以外でその他に標榜している診療科名

1 病理診断科 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21

(注) 標榜している診療科名について記入すること。

5 病床数

精神	感染症	結核	療養	一般	合計
42床	2床	6床	0床	812床	862床

6 医師、歯科医師、薬剤師、看護師及び准看護師、管理栄養士その他の従業者の員数

(平成26年10月1日現在)

職 種	常 勤	非常勤	合 計	職 種	員 数	職 種	員 数
医 師	310人	269人	569.2 人	看 護 補 助 者	85人	診療エックス線技師	0人
歯 科 医 師	101人	64人	164.4人	理 学 療 法 士	20人	臨床検査技師	20人
薬 剤 師	59人	0人	59人	作 業 療 法 士	4人	衛生検査技師	4人
保 健 師	0人	0人	0人	視 能 訓 練 士	9人	そ の 他	9人
助 産 師	29人	0人	0人	義 肢 装 具 士	0人	あん摩マッサージ指圧師	0人
看 護 師	810人	10人	816.9人	臨 床 工 学 技 士	19人	医療社会事業従事者	0人
准 看 護 師	0人	0人	0人	栄 養 士	0人	その他の技術員	3人
歯 科 衛 生 士	16人	0人	16人	歯 科 技 工 士	4人	事 務 職 員	247人
管 理 栄 養 士	15人	0人	15人	診 療 放 射 線 技 師	43人	そ の 他 の 職 員	44人

- (注) 1 申請前半年以内のある月の初めの日における員数を記入すること。
 2 栄養士の員数には、管理栄養士の員数は含めないで記入すること。
 3 「合計」欄には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下2位を切り捨て、小数点以下1位まで算出して記入すること。それ以外の欄には、それぞれの員数の単純合計員数を記入すること。

7 専門の医師数

(平成26年10月1日現在)

専門医名	人 数	専門医名	人 数
総合内科専門医	11人	眼 科 専 門 医	11人
外 科 専 門 医	58人	耳 鼻 咽 喉 科 専 門 医	18人
精 神 科 専 門 医	12人	放 射 線 科 専 門 医	14人
小 児 科 専 門 医	30人	脳 神 経 外 科 専 門 医	16人
皮 膚 科 専 門 医	8人	整 形 外 科 専 門 医	11人
泌 尿 器 科 専 門 医	25人	麻 酔 科 専 門 医	25人
産 婦 人 科 専 門 医	17人	救 急 科 専 門 医	6人
		合 計	262人

- (注) 人数には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下1位を切り捨て、整数で算出して記入すること。

8 前年度の平均の入院患者、外来患者及び調剤の数

歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科の前年度の平均の入院患者及び外来患者の数

	歯 科 等 以 外	歯 科 等	合 計
1日当たり平均入院患者数	700人	20人	720人
1日当たり平均外来患者数	1,271人	443人	1,714人
1日当たり平均調剤数		2,734	剤
必要医師数			152人
必要歯科医師数			25人
必要薬剤師数			35人
必要(准)看護師数			419人

- (注) 1 「歯科等」欄には、歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科を受診した患者数を、「歯科等以外」欄にはそれ以外の診療料を受診した患者数を記入すること。
 2 入院患者数は、年間の各科別の入院患者延数(毎日の24時現在の在院患者数の合計)を暦日で除した数を記入すること。
 3 外来患者数は、年間の各科別の外来患者延数をそれぞれ病院の年間の実外来診療日数で除し

た数を記入すること。

4 調剤数は、年間の入院及び外来別の調剤延数をそれぞれ暦日及び実外来診療日数で除した数を記入すること。

5 必要医師数、必要歯科医師数、必要薬剤師数及び必要（准）看護師数については、医療法施行規則第二十二條の二の算定式に基づき算出すること。

9 施設の構造設備

施設名	床面積	主要構造	設 備 概 要			
集中治療室	309.7m ²	鉄筋コンクリート	病床数	16床	心電計	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
			人工呼吸装置	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	心細動除去装置	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
			その他の救急蘇生装置	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	ペースメーカー	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
無菌病室等	[固定式の場合] 床面積 474.5 m ² [移動式の場合] 台数 台		病床数	49	床	
医薬品情報管理室	[専用室の場合] 床積 136.1 m ² [共用室の場合] 共用する室名					
化学検査室	126m ²	鉄筋コンクリート	(主な設備) 生化学自動分析装置、自動血液ガス分析装置等			
細菌検査室	126m ²	鉄筋コンクリート	(主な設備) 全自動細菌同定薬剤感受性分析装置、自動血液培養装置、質量分析装置、安全キャビネット等			
病理検査室	135m ²	鉄筋コンクリート	(主な設備) 電子顕微鏡、密閉式自動包埋装置、自動染色装置、自動免疫染色装置、ラミナーテーブル、安全キャビネット等			
病理解剖室	63.3m ²	鉄筋コンクリート	(主な設備) 解剖台、高圧滅菌装置、ホルマリン希釈装置、臓器乾燥装置、遺体保存冷蔵庫、教育用カメラマイクシステム等			
研究室	3,249m ²	鉄筋コンクリート	(主な設備) 安全キャビネット、電子顕微鏡、自動血液培養装置、質量分析装置等			
講義室	第3講義室 172m ²	鉄筋コンクリート	室数	2室	収容定員	第3講義室:132人
	第4講義室 389m ²					第4講義室:312人
図書室	142m ²	鉄筋コンクリート	室数	1室	蔵書数	14,400冊程度

(注) 1 主要構造には、鉄筋コンクリート、簡易耐火、木造等の別を記入すること。

2 主な設備は、主たる医療機器、研究用機器、教育用機器を記入すること。

10 紹介率及び逆紹介率の前年度の平均値

算定期間		平成25年4月1日～平成26年3月31日	
紹介率	74.1 %	逆紹介率	43.1 %
算出根拠	A: 紹介患者の数		15,859 人
	B: 他の病院又は診療所に紹介した患者の数		10,226 人
	C: 救急用自動車によって搬入された患者の数		1,734 人
	D: 初診の患者の数		23,712 人

(注) 1 「紹介率」欄は、A、Cの和をDで除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。

2 「逆紹介率」欄は、BをDで除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。

3 A、B、C、Dは、それぞれの前年度の延数を記入すること。

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

3 その他の高度の医療

医療技術名	腹腔鏡下子宮体部悪性腫瘍手術	取扱患者数	1人
当該医療技術の概要 子宮体部悪性腫瘍手術は開腹で行ってきたが、進行期を限定し、腹腔鏡による手術を行う。腹腔鏡によることで腫瘍やリンパ節郭清の完遂度を失うことなく、患者への侵襲の軽減が期待できる。			
医療技術名	広汎性頸部摘除術(子宮頸癌妊孕性温存術)	取扱患者数	0人
当該医療技術の概要 子宮頸癌患者で妊孕性温存を希望する症例に対して行う手術である。病変部を切除でき、かつ子宮体部は温存されているため術後の妊娠が可能である。			
医療技術名	未受精卵凍結、卵巣組織凍結	取扱患者数	0人
当該医療技術の概要 他臓器癌(特に、乳癌や白血病などの悪性血液疾患)に罹患し、化学療法が必要となった妊娠可能年齢の女性が化学療法を受ける際、卵巣機能の低下が危惧される。その際、化学療法施行前に未受精卵を凍結、もしくは卵巣組織を凍結し保存することで治療後の妊孕性温存に寄与する。			
医療技術名	MEDEL社製体外非露出型人工中耳Bonebridgeの有用性について	取扱患者数	1人
当該医療技術の概要 力音改善を図るものである。この治療法の有用性を他施設共同研究の形で調査している。			
医療技術名	超音波ガイド下神経ブロックによる術後鎮痛	取扱患者数	400人
当該医療技術の概要 従来のランドマーク法、通電刺激法を用いた神経ブロックではその効果の確実性、安全性、手技の容易さなどに問題があったが、超音波ガイド下に神経、ブロック針、周囲の組織、局所麻酔薬の拡がりを確認することによって、これらの問題点が克服された。神経ブロックは、侵害刺激の遮断により術後のオピオイド必要量を減らし、嘔気・嘔吐を主とする周術期合併症を減らし、手術後の早期回復、患者の満足度の向上に大きく貢献する。			
医療技術名	ROTEM(Rotation Thromboelastometry)を用いた生体肝移植術中の凝固能モニタ	取扱患者数	20人
生体肝移植では出血コントロールのため術中の凝固能モニタリングが重要である。従来の凝固能のモニタリングには検査室におけるプロトロンビン時間(PT)、フィブリノーゲン値(Fib)、血小板数(Plt)を指標とすることが多かったが、いずれも結果参照までに時間を要する。ROTEM(Rotation Thromboelastometry)は手術室内にて5~15分で結果が得られるため、術中の出血に対する迅速な治療につながり、術後の回復にも貢献する。			
医療技術名	インプラント併用義歯	取扱患者数	8人
当該医療技術の概要 通常の義歯では維持安定が困難な義歯症例に対し歯科用インプラントを併用することにより義歯の維持安定および残存歯の保護機能改善したもの。			
医療技術名	磁性アタッチメント義歯	取扱患者数	8人
当該医療技術の概要 天然歯の歯根に磁性アタッチメントを応用し、残存歯根と歯槽骨の保護、義歯安定および審美性の改善を図った義歯			
医療技術名	顎義歯	取扱患者数	14人
当該医療技術の概要 顎骨腫瘍等により生じた顎骨欠損に対し義歯で補綴を行った症例			
医療技術名	コンフォート義歯	取扱患者数	9人
当該医療技術の概要 疼痛過敏や慢性疼痛を有する可撤性義歯適応患者に対し、従来材料よりも劣化の少ない軟質リライン材を応用した症例			

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

3 その他の高度の医療

医療技術名	顎運動検査	取扱患者数	4人
当該医療技術の概要 顎位不安定や顎関節症など顎機能異常を有する患者において下顎運動解析を装置を用いて評価し補綴治療を実施した症例			
医療技術名	CAD/CAM冠	取扱患者数	27人
当該医療技術の概要 CAD/CAM技術を応用した補綴物を適応した症例			
医療技術名	オールセラミック冠/ブリッジおよびラミネートベニア	取扱患者数	38人
当該医療技術の概要 ジルコニアや二ケイ酸リチウムなどを用いたオールセラミックによる審美補綴治療			
医療技術名	重症の円形脱毛症に対するステロイド点滴静注パルス療法	取扱患者数	9人
当該医療技術の概要 重症の円形脱毛症患者にステロイドの点滴静注パルス療法を行うことで、低い副作用で効果的な治療を行うことが可能である。			
医療技術名	小児の円形脱毛症に対するエキシマライト治療	取扱患者数	1人
当該医療技術の概要 治療選択肢が少ない小児の円形脱毛症患者に対して安全に簡便に行うことができるエキシマライトによる光線治療を試みる。			
医療技術名	頭部血管肉腫に対するソラフェニブによる治療	取扱患者数	3人
当該医療技術の概要 腎臓癌に適応が認められているソラフェニブを、非常に予後不良である頭部血管肉腫に対して使用し、著効した。			
医療技術名	蜂アレルギーの減感作療法	取扱患者数	2人
当該医療技術の概要 蜂アレルギー患者において、ホリスター社のハチアレルゲンを用いて、急速減感作および維持療法を行った。ハチ2匹分のアレルゲンを皮下注射しても全身症状は惹起されず、効果が認められた。			
医療技術名	色素性乾皮症の迅速診断	取扱患者数	6人
当該医療技術の概要 色素性乾皮症の診断のため、患者由来培養皮膚線維芽細胞に、既知NER遺伝子(XPA~XPG)のcDNAを発現するレンチウイルスを感染させ、不定期DNA合成(UDS)試験及びRNA合成回復(RRS)試験を実施し、相補された遺伝子を疾患責任遺伝子として一義的に決定する			
医療技術名	有棘細胞癌、乳房外パジェット癌に対するセンチネルリンパ節生検	取扱患者数	10人
当該医療技術の概要 有棘細胞癌、乳房外パジェット病においてRI法、色素法を併用しセンチネルリンパ節を同定。所属リンパ節転移の評価を行っている。			
医療技術名	乳房外パジェット癌に対するパクリタキセル療法	取扱患者数	1-2人
当該医療技術の概要 遠隔転移やリンパ節転移を伴う乳房外パジェット病に対し、monthly docetaxel療法を行っている。使用例において腫瘍の縮小が認められた。			

(注) 1 当該医療機関において高度の医療と判断するものが他にあれば、前年度の実績を記入すること。

(注) 2 医療法施行規則第六条の四第四項の規定に基づき、がん、循環器疾患等の疾患に関し、高度かつ専門的な医療を提供する特定機能病院として十以上の診療科名を標榜する病院については、他の医療機関での実施状況を含め、当該医療技術が極めて先駆的であることについて記入すること(当該医療が先進医療の場合についても記入すること)。

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

4 特定疾患治療研究事業対象疾患についての診療

疾 患 名	取扱患者数	疾 患 名	取扱患者数
・ベーチェット病	58人	・膿疱性乾癬	8人
・多発性硬化症	47人	・広範脊柱管狭窄症	4人
・重症筋無力症	90人	・原発性胆汁性肝硬変	66人
・全身性エリテマトーデス	266人	・重症急性膵炎	5人
・スモン	0人	・特発性大腿骨頭壊死症	66人
・再生不良性貧血	41人	・混合性結合組織病	65人
・サルコイドーシス	110人	・原発性免疫不全症候群	7人
・筋萎縮性側索硬化症	10人	・特発性間質性肺炎	27人
・強皮症、皮膚筋炎及び多発性筋炎	224人	・網膜色素変性症	12人
・特発性血小板減少性紫斑病	76人	・プリオン病	1人
・結節性動脈周囲炎	54人	・肺動脈性肺高血圧症	13人
・潰瘍性大腸炎	183人	・神経線維腫症	28人
・大動脈炎症候群	40人	・亜急性硬化性全脳炎	0人
・ビュルガー病	10人	・バッド・キアリ(Budd-Chiari)症候群	4人
・天疱瘡	18人	・慢性血栓塞栓性肺高血圧症	11人
・脊髄小脳変性症	31人	・ライゾゾーム病	2人
・クローン病	113人	・副腎白質ジストロフィー	1人
・難治性の肝炎のうち劇症肝炎	5人	・家族性高コレステロール血症(ホモ接合体)	1人
・悪性関節リウマチ	31人	・脊髄性筋委縮症	2人
・パーキンソン病関連疾患(進行性核上性麻痺、 大脳皮質基底核変性症及びパーキンソン病)	70人	・球脊髄性筋委縮症	5人
・アミロイドーシス	5人	・慢性炎症性脱髄性多発神経炎	11人
・後縦靭帯骨化症	55人	・肥大型心筋症	26人
・ハンチントン病	1人	・拘束型心筋症	0人
・モヤモヤ病(ウィリス動脈輪閉塞症)	77人	・ミトコンドリア病	6人
・ウェゲナー肉芽腫症	11人	・リンパ脈管筋腫症(LAM)	9人
・特発性拡張型(うっ血型)心筋症	68人	・重症多形滲出性紅斑(急性期)	0人
・多系統萎縮症(線条体黒質変性症、オリブ橋 小脳萎縮症及びシャイ・ドレーガー症候群)	15人	・黄色靭帯骨化症	10人
・表皮水疱症(接合部型及び栄養障害型)	4人	・間脳下垂体機能障害 (PRL分泌異常症、ゴナドトロピン分泌異常症、AD H分泌異常症、下垂体性TSH分泌異常症、クッシング 病、先端巨大症、下垂体機能低下症)	79人

(注) 「取扱患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

5 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(基本診療科)

施設基準の種類	施設基準の種類
・地域歯科診療支援病院歯科初診料	・がん診療連携拠点病院加算
・歯科外来診療環境体制加算	・栄養サポートチーム加算
・歯科診療特別対応連携加算	・医療安全対策加算1
・特定機能病院入院基本料(一般病棟 7対1)	・感染防止対策加算1
・特定機能病院入院基本料(結核病棟 7対1)	・感染防止対策地域連携加算
・特定機能病院入院基本料(精神病棟 13対1)	・褥瘡ハイリスク患者ケア加算
・臨床研修病院入院診療加算	・ハイリスク妊娠管理加算
・救急医療管理加算	・ハイリスク分娩管理加算
・超急性期脳卒中加算	・退院調整加算
・妊産婦緊急搬送入院加算	・救急搬送患者地域連携紹介加算
・診療録管理体制加算1	・呼吸ケアチーム加算
・急性期看護補助体制加算(一般病棟 50対1)	・病棟薬剤業務実施加算
・看護補助加算2(精神病棟 50対1)	・データ提出加算2
・療養環境加算	・地域歯科診療支援病院入院加算
・重症者等療養環境特別加算	・救命救急入院料1
・無菌治療室管理加算1	・特定集中治療室管理料4
・無菌治療室管理加算2	・脳卒中ケアユニット入院医療管理料
・緩和ケア診療加算	・新生児特定集中治療室管理料1
・精神病棟入院時医学管理加算	・新生児治療回復室入院医療管理料
・精神科身体合併症管理加算	・小児入院医療管理料2
・精神科リエゾンチーム加算	・小児入院医療管理料に係る加算
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

6 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(特掲診療科)

施設基準の種類	施設基準の種類
・ウイルス疾患指導料	・脳刺激装置植込術(頭蓋内電極植込術を含む。)及び脳刺激装置交換術
・心臓ペースメーカー指導管理料(植込型除細動器移行加算)	・羊膜移植術
・喘息治療管理料	・緑内障手術(緑内障治療用インプラント挿入術(プレートのあるもの))
・糖尿病合併症管理料	・網膜付着組織を含む硝子体切除術(眼内内視鏡を用いるもの)
・がん性疼痛緩和指導管理料	・網膜再建術
・がん患者指導管理料1	・人工内耳植込術
・がん患者指導管理料2	・植込型骨導補聴器移植術及び植込型骨導補聴器交換術
・外来緩和ケア管理料	・内視鏡下鼻・副鼻腔手術V型(拡大副鼻腔手術)
・移植後患者指導管理料(臓器移植後の場合)	・上顎骨形成術(骨移動を伴う場合に限る。)(歯科診療以外の診療に係るものに限る。)、下顎骨形成術(骨移動を伴う場合に限る。)(歯科診療以外の診療に係るものに限る。)
・移植後患者指導管理料(造血幹細胞移植後の場合)	・上顎骨形成術(骨移動を伴う場合に限る。)(歯科診療に係るものに限る。)、下顎骨形成術(骨移動を伴う場合に限る。)(歯科診療に係るものに限る。)
・糖尿病透析予防指導管理料	・乳がんセンチネルリンパ節加算1及び2
・院内トリアージ実施料	・ゲル充填人工乳房を用いた乳房再建術(乳房切除後)
・外来放射線照射診療料	・同種死体肺移植術
・ニコチン依存症管理料	・生体部分肺移植術
・がん治療連携計画策定料	・経皮的冠動脈形成術
・がん治療連携管理料	・経皮的冠動脈形成術(特殊カテーテルによるもの)
・認知症専門診断管理料	・経皮的冠動脈ステント留置術
・肝炎インターフェロン治療計画料	・経皮的な中隔心筋焼灼術
・薬剤管理指導料	・ペースメーカー移植術及びペースメーカー交換術
・医療機器安全管理料1	・植込型心電図記録計移植術及び植込型心電図記録計摘出術
・医療機器安全管理料2	・両心室ペースメーカー移植術及び両心室ペースメーカー交換術
・歯科治療総合医療管理料	・植込型除細動器移植術及び植込型除細動器交換術
・持続血糖測定器加算	・両室ペーシング機能付き植込型除細動器移植術及び両室ペーシング機能付き植込型除細動器交換術
・造血器腫瘍遺伝子検査	・大動脈バルーンパンピング法(IABP法)
・HPV核酸検出	・補助人工心臓

・HPV核酸検出(簡易ジェノタイプ判定)	・植込型補助人工心臓(拍動流型)
・検体検査管理加算(IV)	・植込型補助人工心臓(非拍動流型)
・遺伝カウンセリング加算	・経皮的動脈遮断術
・心臓カテーテル法による諸検査の血管内視鏡検査加算	・ダメージコントロール手術
・植込型心電図検査	・体外衝撃波胆石破碎術
・時間内歩行試験	・腹腔鏡下肝切除術
・胎児心エコー法	・生体部分肝移植術
・ヘッドアップティルト試験	・同種死体肝移植術
・皮下連続式グルコース測定	・体外衝撃波膵石破碎術
・長期継続頭蓋内脳波検査	・腹腔鏡下膵体尾部腫瘍切除術
・神経学的検査	・早期悪性腫瘍大腸粘膜下層剥離術
・補聴器適合検査	・腹腔鏡下小切開副腎摘出術
・ロービジョン検査判断料	・体外衝撃波腎・尿管結石破碎術
・小児食物アレルギー負荷検査	・腹腔鏡下小切開腎部分切除術、腹腔鏡下小切開腎摘出術、腹腔鏡下小切開腎(尿管)悪性腫瘍手術
・内服・点滴誘発試験	・腎腫瘍凝固・焼灼術(冷凍凝固によるもの)
・センチネルリンパ節生検(乳がんに係るものに限る。)	・同種死体腎移植術
・画像診断管理加算2	・生体腎移植術
・歯科画像診断管理加算1	・膀胱水圧拡張術
・歯科画像診断管理加算2	・腹腔鏡下膀胱悪性腫瘍手術
・ポジトロン断層撮影又はポジトロン断層・コンピューター断層複合撮影	・人工尿道括約筋植込・置換術
・CT撮影及びMRI撮影	・腹腔鏡下前立腺悪性腫瘍手術
・冠動脈CT撮影加算	・腹腔鏡下小切開前立腺悪性腫瘍手術
・外傷全身CT加算	・腹腔鏡下子宮悪性腫瘍手術(子宮体がんに限る。)
・大腸CT撮影加算	・胎児胸腔・羊水腔シャント術
・心臓MRI撮影加算	・医科点数表第2章第10部手術の通則5及び6(歯科点数表第2章第9部の通則4を含む。)に掲げる手術
・抗悪性腫瘍剤処方管理加算	・胃瘻造設術(内視鏡下胃瘻造設術、腹腔鏡下胃瘻造設術を含む。)
・外来化学療法加算1	・輸血管理料 I
・無菌製剤処理料	・自己生体組織接着剤作成術
・心大血管疾患リハビリテーション料(I)	・人工肛門・人工膀胱造設術前処置加算
・心大血管疾患リハビリテーション初期加算	・内視鏡手術用支援機器加算

・脳血管疾患等リハビリテーション料(Ⅰ)	・胃瘻造設時嚥下機能評価加算
・運動器リハビリテーション料(Ⅰ)	・歯周組織再生誘導手術
・呼吸器リハビリテーション料(Ⅰ)	・広範囲顎骨支持型装置埋入手術
・呼吸器リハビリテーション初期加算	・麻酔管理料(Ⅰ)
・がん患者リハビリテーション料	・麻酔管理料(Ⅱ)
・歯科口腔リハビリテーション料2	・放射線治療専任加算
・抗精神病特定薬剤治療指導管理料(治療抵抗性統合失調症治療指導管理料に限る。)	・外来放射線治療加算
・医療保護入院等診療料	・高エネルギー放射線治療
・エタノールの局所注入(甲状腺に対するもの)	・強度変調放射線治療(IMRT)
・エタノールの局所注入(副甲状腺に対するもの)	・画像誘導放射線治療加算(IGRT)
・透析液水質確保加算2	・体外照射呼吸性移動対策加算
・一酸化窒素吸入療法	・定位放射線治療
・う蝕歯無痛的窩洞形成加算	・定位放射線治療呼吸性移動対策加算
・CAD/CAM冠	・病理診断管理加算2
・歯科技工加算	・クラウン・ブリッジ維持管理料
・皮膚悪性腫瘍切除術(悪性黒色腫センチネルリンパ節加算を算定する場合に限る)	・歯科矯正診断料
・組織拡張器による再建手術(一連につき)[乳房(再建手術)の場合に限る]	・顎口腔機能診断料(顎変形症(顎離断等の手術を必要とするものに限る。)の手術前後における歯科矯正に係るもの)
・頭蓋骨形成手術(骨移動を伴うものに限る。)	

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

7 健康保険法の規定による療養に要する費用の額の算定方法に先進医療から採り入れられた医療技術

施設基準等の種類	施設基準等の種類
・インプラント義歯	・
・先天性難聴の遺伝子診断	・
・肝切除手術における画像支援ナビゲーション	・
・内視鏡的大腸粘膜下層剥離術	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・

(注) 1 特定機能病院の名称の承認申請の場合には、必ずしも記入しなくともよいこと。

(注) 2 「施設基準等の種類」欄には、特定機能病院の名称の承認申請又は業務報告を行う3年前の4月以降に、健康保険法の規定による療養に要する費用の額の算定方法(平成六年厚生省告示第五十四号)に先進医療(当該病院において提供していたものに限る。)から採り入れられた医療技術について記入すること。

8 病理・臨床検査部門の概要

臨床検査及び病理診断を実施する部門の状況	① 臨床検査部門と病理診断部門は別々である。 ② 臨床検査部門と病理診断部門は同一部門にまとめられている。
臨床部門が病理診断部門或いは臨床検査部門と開催した症例検討会の開催頻度	1年間に6回程度開催
剖 検 の 状 況	剖検症例数 27 例 / 剖検率 8.5%

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
母体血漿中胎児・胎盤特異的mRNA/microRNAの同定と臨床応用に関する研究	三浦 清徳	産科婦人科	4,100,000円	補 文部科学省 科学研究費補助金
日常生活における咀嚼回数が地域住民の生活自立度やQOLに与える影響	福田 英輝	予防歯科室	4,000,000円	補 文部科学省 科学研究費補助金
非アルコール性脂肪肝炎に対する麻酔薬の肝虚血保護法の検討：糖尿病薬との相互作用	趙 成三	麻酔科	4,000,000円	補 文部科学省 科学研究費補助金
1型糖尿病の病態解明と発症・進展予知への応用	川崎 英二	生活習慣病部	4,000,000円	補 文部科学省 科学研究費補助金
ストレス誘導性コンディショニングの探索：高炭酸ガス血症の効果	原 哲也	麻酔科	3,900,000円	補 文部科学省 科学研究費補助金
関節リウマチにおける両手MRI撮像法の改良および非造影MRIの臨床的有用性の研究	上谷 雅孝	放射線科	3,900,000円	補 文部科学省 科学研究費補助金
MIの理念とエビデンスに基づくう蝕治療の合理的な診療ガイドの構築	久保 至誠	歯科保存学第一	3,900,000円	補 文部科学省 科学研究費補助金
アポトーシスおよび非アポトーシス細胞死機序におけるcPLA2の関与について	中村 卓	歯科放射線学	3,900,000円	補 文部科学省 科学研究費補助金
歯原性間葉細胞の分化制御機構についての研究	釜崎 陽子	小児歯科学	3,760,000円	補 文部科学省 科学研究費補助金
ヒト肝再構築シートを用いた肝再生医療の前臨床研究	江口 晋	第二外科	3,700,000円	補 文部科学省 科学研究費補助金
歯周病原細菌によるインフラマソーム活性化機構に着目した歯周炎症反応の制御	金子 高士	歯科保存学第二	3,700,000円	補 文部科学省 科学研究費補助金
天然生理活性ペプチド画分の前骨芽細胞系におけるコラーゲン翻訳後修飾制御の解析	山田 志津香	歯科保存学第一	3,700,000円	補 文部科学省 科学研究費補助金
ファイバー補強接着ボンティック補綴法の確立	田上 直美	小児歯科学	3,650,000円	補 文部科学省 科学研究費補助金
MRIによる心筋遅延造影法を用いた心筋線維化定量化法の確立	末吉 英純	放射線医学	3,500,000円	補 文部科学省 科学研究費補助金
高血圧ラットにおける血管原性脳浮腫の研究	林 健太郎	脳神経外科	3,500,000円	補 文部科学省 科学研究費補助金
レーザー焼結および切削加工されたメタルフレームへのハイブリッドレジンの接着強化	鎌田 幸治	歯科補綴学第一	3,500,000円	補 文部科学省 科学研究費補助金
非造影MR灌流・拡散イメージングによる唾液腺機能解析法の開発	佐々木 美穂	歯科放射線学	3,460,225円	補 文部科学省 科学研究費補助金
新しい嚥下リハビリ手技“蕎麦啜り様訓練”の評価	小山 善哉	特殊歯科総合治療部	3,400,000円	補 文部科学省 科学研究費補助金
腎癌におけるアノキス抵抗性獲得因子の網羅的解析と予後予測や治療標的としての検討	大庭 康司郎	泌尿器科	3,378,000円	補 文部科学省 科学研究費補助金
自然炎症を基盤とした前立腺癌の進展におけるミッドカインの役割解析	井川 掌	泌尿器科	3,350,000円	補 文部科学省 科学研究費補助金
細胞の電子伝達系をモデルにしたレジンの高耐久接着による歯根象牙質の新規再生	平 曜輔	歯科補綴学第一	3,300,000円	補 文部科学省 科学研究費補助金
新たなT細胞サブセットTh17の歯周組織破壊に関する基礎的研究	尾崎 幸生	歯科保存学第二	3,210,000円	補 文部科学省 科学研究費補助金
音ストレス増悪接触皮膚炎実験モデルを用いたガス状伝達分子NO, CO, H2Sの解析	清水 和宏	皮膚科	3,100,000円	補 文部科学省 科学研究費補助金
エフェクター細胞を標的とした1型糖尿病の新規治療法の開発	阿比留 教生	第一内科	3,100,000円	補 文部科学省 科学研究費補助金
HTLV-1関連脊髄症発症に関与する細胞内骨格再構成シグナル伝達機構の解明	中村 龍文	第一内科	3,060,000円	補 文部科学省 科学研究費補助金
放射線治療を受ける頭頸部癌患者への口腔ケアの介入効果	川下 由美子	予防歯科学	3,050,000円	補 文部科学省 科学研究費補助金
腎虚血再灌流障害に対する水素の腎保護効果とその分子生物学的機序の解明	三好 宏	手術部	3,000,000円	補 文部科学省 科学研究費補助金

小計 27

(注) 1 国、地方公共団体又は公益法人から補助金の交付又は委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に行った研究のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。

2 「研究者氏名」欄は、1つの研究について研究者が複数いる場合には、主たる研究者の氏名を記入すること。

3 「補助元又は委託元」欄は、補助の場合は「補」、委託の場合は「委」に、○印をつけた上で、補助元又は委託元を記入すること。

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
ブタ希釈性凝固障害モデルにおけるROTEMガイド下凝固管理法の開発	前川 拓治	麻 酔 科	3,000,000円	補 文部科学省 科学研究費補助金
インプラント患者の咬合力調節機構—歯根膜とオッセオーバーセプションの役割—	田中 美保子	歯科補綴学第二	3,000,000円	補 文部科学省 科学研究費補助金
iPS細胞由来歯髄幹細胞の均質化・大量増幅による歯髄・象牙質再生療法の実現化	池田 毅	歯科保存学第一	3,000,000円	補 文部科学省 科学研究費補助金
成熟脂肪細胞のDirect Reprogrammingによる骨再生システムの開発	朝比奈 泉	口腔外科学第二	3,000,000円	補 文部科学省 科学研究費補助金
レミフェンタニルの二量体化オピオイド受容体脱感作メカニズムの解明	倉田 眞治	歯科麻酔学	2,900,000円	補 文部科学省 科学研究費補助金
性同一性障害の遺伝的発症基盤から探る性差	黒滝 直弘	精神科神経科	2,800,000円	補 文部科学省 科学研究費補助金
ヒト型抗GTF抗体をイネに産生させた食べるう蝕予防ワクチンの開発	藤原 卓	小児歯科学	2,800,000円	補 文部科学省 科学研究費補助金
血管奇形における神経性の分子機構解明と血行動態の解析	秋田 定伯	形 成 外 科	2,800,000円	補 文部科学省 科学研究費補助金
医療安全に対する直接効果を発揮するインシデントレポート管理システムの開発と評価	松本 武浩	医 療 情 報 部	2,800,000円	補 文部科学省 科学研究費補助金
神経芽腫の獲得薬剤耐性に関与するmiR-195の機能解析	氏福 健太	脳 神 経 外 科	2,750,000円	補 文部科学省 科学研究費補助金
アトミックレイヤーデポジション(ALD)法による新規ハイブリッド矯正材料の開発	中尾 紀子	歯科矯正学	2,750,000円	補 文部科学省 科学研究費補助金
子どものこころと身体を見守り支援する大規模データ収集とリスク予測モデル構築	藤原 卓	小児歯科学	2,719,110円	補 文部科学省 科学研究費補助金
加齢黄斑変性症を標的とした新規遺伝子治療技術の開発	佐々木 均	薬 剤 部	2,700,000円	補 文部科学省 科学研究費補助金
MALTリンパ腫に対するマクロライド系抗菌薬の抗腫瘍効果	石松 祐二	第 二 内 科	2,700,000円	補 文部科学省 科学研究費補助金
川崎病・白血病・HTLV感染・慢性疲労症候群における内因性レトロウイルスの活動性	森内 浩幸	小 児 科	2,700,000円	補 文部科学省 科学研究費補助金
IVIM-MRイメージングを用いたリンパ節転移診断	角 美佐	歯科放射線学	2,650,000円	補 文部科学省 科学研究費補助金
GFPラット移植肺モデルにおけるStem cellの新たな役割	山崎 直哉	第 一 外 科	2,600,000円	補 文部科学省 科学研究費補助金
分子標的治療薬mTOR阻害剤と放射線を併用した新たな口腔癌治療開発の基礎的研究	飛田 尚慶	口腔外科学第二	2,600,000円	補 文部科学省 科学研究費補助金
島嶼地域住民における口腔と全身健康状態の相互関連性に関するコホート研究	齋藤 俊行	予 防 歯 科 学	2,500,000円	補 文部科学省 科学研究費補助金
Toll様受容体を標的とした歯周組織の炎症制御に関する基礎的研究	吉村 篤利	歯科保存学第二	2,500,000円	補 文部科学省 科学研究費補助金
子宮内膜症による骨盤内炎症が卵巣予備能に及ぼす影響に関する研究	北島 道夫	産 科 婦 人 科	2,500,000円	補 文部科学省 科学研究費補助金
「ネッツ」の制御による重症患者に対する新しい治療戦略の提案	田崎 修	救命救急センター	2,500,000円	補 文部科学省 科学研究費補助金
オピオイドおよびカナビノイドと二量体化受容体の相互作用の分子機構の解明	北條 美能留	麻 酔 科	2,400,000円	補 文部科学省 科学研究費補助金
気分障害の脳情報伝達不均衡仮説に基づく内在性神経幹細胞活性化療法の可能性	小澤 寛樹	精神科神経科	2,400,000円	補 文部科学省 科学研究費補助金
高血糖ハイリスクの歯根吸収への影響	佛坂 斉社	歯科矯正学	2,400,000円	補 文部科学省 科学研究費補助金
矯正学的歯の移動促進を目指した低出力超音波応用への試みとその解析	藤村 裕治	歯科矯正学	2,400,000円	補 文部科学省 科学研究費補助金
CT上の肺結節の基準と経過観察に関する研究—ガイドラインの有効性の検証—	芦澤 和人	がん診療センター	2,400,000円	補 文部科学省 科学研究費補助金

小計 27

(注) 1 国、地方公共団体又は公益法人から補助金の交付又は委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に行った研究のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。

2 「研究者氏名」欄は、1つの研究について研究者が複数いる場合には、主たる研究者の氏名を記入すること。

3 「補助元又は委託元」欄は、補助の場合は「補」、委託の場合は「委」、○印をつけた上で、補助元又は委託元を記入すること。

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
ヒト脂肪由来幹細胞の障害肺、移植肺治療への実用化を目指す、肺生着、臓器保護の研究	土谷 智史	第一外科	2,350,000円	補 文部科学省 科学研究費補助金
被虐待児のエピジェネティック異常仮説の臨床応用についての検討	今村 明	精神科神経科	2,320,000円	補 文部科学省 科学研究費補助金
歯周病原因子とアディポカインの相互作用が血管内皮細胞や肝細胞に与える影響	古堅 麗子	予防歯科学	2,300,000円	補 文部科学省 科学研究費補助金
Nanofluidic法を用いた肺炎症例の肺炎球菌血清型サーベイランスの構築	古本 朗嗣	熱研内科	2,300,000円	補 文部科学省 科学研究費補助金
同時多発肺病変に対する細胞遺伝学的プロファイルに基づいた治療戦略の確立	永安 武	第一外科	2,300,000円	補 文部科学省 科学研究費補助金
若年性歯周炎原因菌に対するアンチセンス法を用いた分子標的治療の開発	星野 倫範	小児歯科学	2,300,000円	補 文部科学省 科学研究費補助金
ケニア無菌科医地域での健康人口学的調査を活用した統合型口腔環境疫学データの構築	林 善彦	齲蝕学	2,300,000円	補 文部科学省 科学研究費補助金
HTLV-1インテグラーゼ特異的阻害剤の開発：天然由来物質ラメラリンの可能性	長谷川 寛雄	検査部	2,240,000円	補 文部科学省 科学研究費補助金
脾臓・樹状細胞標的型ナノデバイスを用いた安全なワクチン技術開発と臨床応用への研究	北原 隆志	薬剤部	2,200,000円	補 文部科学省 科学研究費補助金
SHIPノックアウトマウスを用いたメカニカルストレス誘導骨代謝に関する研究	吉松 昌子	歯科矯正学	2,200,000円	補 文部科学省 科学研究費補助金
常位胎盤早期剥離の分子マーカーの同定とその臨床的意義に関する研究	増崎 英明	産科婦人科	2,150,000円	補 文部科学省 科学研究費補助金
細胞外マトリックスに着目した創傷治癒研究	宇谷 厚志	皮膚科	2,100,000円	補 文部科学省 科学研究費補助金
パルスレーザー堆積法による次世代ハイブリッド歯冠修復	日野 直樹	歯科補綴学第一	2,100,000円	補 文部科学省 科学研究費補助金
増殖因子と細胞内シグナル制御による糖尿病網膜症の病的血管の再生治療	鈴間 潔	眼科	2,100,000円	補 文部科学省 科学研究費補助金
自己抗原をプロテオミクスで同定しRAの診断、病態解明、治療に展開する横断的研究	川上 純	第一内科	2,085,000円	補 文部科学省 科学研究費補助金
微小環境変化による肝癌細胞の上皮間葉移行とオートファジーの関連について	中尾 一彦	消化器内科	2,050,000円	補 文部科学省 科学研究費補助金
ファイブサイト及び関連幹細胞による皮弁生着・延長、創傷治癒の新規治療法の開発	吉本 浩	形成外科	2,020,000円	補 文部科学省 科学研究費補助金
歯周組織およびインプラント周囲組織の破壊機序解明に関する実験病理学的研究	原 宜興	歯科保存学第二	2,000,000円	補 文部科学省 科学研究費補助金
細胞親和性を担持させたセラミックスと海洋性コラーゲンを用いた歯科治療の新規開発	池田 香	歯科保存学第一	2,000,000円	補 文部科学省 科学研究費補助金
子宮内膜症の病態における抗菌性ペプチドと細菌性エンドトキシンの役割に関する研究	KHAN KHA LEQUE	産科婦人科	2,000,000円	補 文部科学省 科学研究費補助金
歯髄・歯根膜由来遊離幹細胞の系統的初期化とその中枢神経性疾患への応用	住田 吉慶	口腔外科学第二	2,000,000円	補 文部科学省 科学研究費補助金
時期・組織特異的ノックアウトマウスを用いた咀嚼中枢・摂食中枢形成障害の機序解明	吉田 教明	矯正歯科	2,000,000円	補 文部科学省 科学研究費補助金
バイオアクティブ材料を用いた象牙質接着を革新する新規プライマーの開発	添野 光洋	歯科補綴学第一	1,900,000円	補 文部科学省 科学研究費補助金
アポトーシスおよび非アポトーシス細胞死機序におけるcPLA2の関与について	中村 卓	歯科放射線学	1,900,000円	補 文部科学省 科学研究費補助金
嚙下中の体幹筋群の役割の解明と介助用下肢ロボットスーツの嚙下訓練応用の可能性	鮎瀬 てるみ	特殊歯科総合治療部	1,800,000円	補 文部科学省 科学研究費補助金
未固定肺癌検体を用いた抗癌剤耐性・感受性因子の測定による肺癌個別化治療の確立	中村 洋一	第二内科	1,800,000円	補 文部科学省 科学研究費補助金
生体活性物質による治癒促進機能を有する高耐久性含フッ素粘膜調整材の開発	村田 比呂司	歯科補綴学第二	1,800,000円	補 文部科学省 科学研究費補助金

(注) 1 国、地方公共団体又は公益法人から補助金の交付又は委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に行った研究のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。

2 「研究者氏名」欄は、1つの研究について研究者が複数いる場合には、主たる研究者の氏名を記入すること。

3 「補助元又は委託元」欄は、補助の場合は「補」に、委託の場合は「委」に、○印をつけた上で、補助元又は委託元を記入すること。

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
大学病院における医療連携システムの評価と標準化の検討	川崎 浩二	地域医療連携センター	1,700,000円	補 文部科学省 科学研究費補助金
何が咬みしめ習癖における疼痛過敏化のトリガーになっているのか?	鳥巢 哲朗	歯科補綴学第二	1,700,000円	補 文部科学省 科学研究費補助金
骨関連細胞ネットワークによるオッセオインテグレーション獲得機構の解明	澤瀬 隆	歯科補綴学第一	1,700,000円	補 文部科学省 科学研究費補助金
白金ナノコロイドとキマーゼ阻害薬を応用したドライマウス用粘膜活性保湿ジェルの創製	村田 比呂司	歯科補綴学第二	1,699,552円	補 文部科学省 科学研究費補助金
難治性気道疾患と重症肺炎患者への新たな治療法の開発	松本 桂太郎	第一外科	1,600,000円	補 文部科学省 科学研究費補助金
統合失調症と双極性障害におけるミッシング・ヘリタビリティの探索	黒滝 直弘	精神科神経科	1,600,000円	補 文部科学省 科学研究費補助金
心不全における概日リズムの破綻と時間治療学的観点からの治療	前村 浩二	循環器内科	1,600,000円	補 文部科学省 科学研究費補助金
ストレス応答タンパクの多様性について- α NACとMUC1の核内での働き-	佛坂 由可	歯科放射線学	1,500,000円	補 文部科学省 科学研究費補助金
p53とFEN1が創り出す細胞の運命	片山 郁夫	歯科放射線学	1,500,000円	補 文部科学省 科学研究費補助金
3次元リアルタイム培養システムによる歯周病とNASH関連機序のイメージング解析	齋藤 俊行	予防歯科学	1,500,000円	補 文部科学省 科学研究費補助金
脂肪幹細胞を用いた肛門括約筋再生に関する研究	藤田 文彦	第二外科	1,500,000円	補 文部科学省 科学研究費補助金
アポトーシスおよび非アポトーシス細胞死機序におけるcPLA2の関与について	中村 卓	歯科放射線学	1,500,000円	補 文部科学省 科学研究費補助金
破骨細胞前駆細胞に着目した咬合性外傷メカニズム解明のための基礎的研究	鵜飼 孝	歯周病治療室	1,450,000円	補 文部科学省 科学研究費補助金
ストレス応答マイクロRNAが制御するMUC1の役割について	田代 茂樹	臨床研究センター	1,400,000円	補 文部科学省 科学研究費補助金
歯周病におけるレジスタンの病態生理学的意義の解明	林田 秀明	予防歯科室	1,400,000円	補 文部科学省 科学研究費補助金
GLP-1の心筋虚血再灌流障害に対する役割と分子機序の解明	柴田 伊津子	麻酔科	1,400,000円	補 文部科学省 科学研究費補助金
全身性強皮症モデルマウスの皮膚硬化・肺線維症に対するvorinostatの効果	小川 文秀	皮膚科	1,400,000円	補 文部科学省 科学研究費補助金
組織拡散を決定する因子としての細胞膜表面糖タンパク構造について	榮田 智	歯科放射線学	1,400,000円	補 文部科学省 科学研究費補助金
真菌関連喘息の病態解明と治療法の確立	松瀬 厚人	第二内科	1,300,000円	補 文部科学省 科学研究費補助金
膀胱癌における4N1K-peptideの臨床病理学的意義と進展抑制効果の研究	宮田 康好	泌尿器科	1,200,000円	補 文部科学省 科学研究費補助金
成熟脂肪細胞のDirect Reprogrammingによる骨再生システムの開発	朝比奈 泉	口腔外科学第二	1,200,000円	補 文部科学省 科学研究費補助金
カンジダ抑制作用を有するTea tree oilの義歯用歯磨剤への応用と開発	山下 利佳	義歯補綴治療室	1,150,000円	補 文部科学省 科学研究費補助金
PGE2受容体阻害と緑茶ポリフェノールのHuR抑制を利用した前立腺癌の化学予防	酒井 英樹	泌尿器科	1,100,000円	補 文部科学省 科学研究費補助金
医師の燃え尽き症候群克服のためのワークライフバランスからのアクションリサーチ	伊東 昌子	メディカルワークライフバランスセンター	1,100,000円	補 文部科学省 科学研究費補助金
糖鎖連結クロリンを用いた新しい光線力学的療法による胆管癌の次世代局所治療法の開発	七島 篤志	第一外科	1,100,000円	補 文部科学省 科学研究費補助金
生体材料関連感染症に対する光触媒酸化チタンの臨床応用に向けた研究	日浦 健	整形外科	1,100,000円	補 文部科学省 科学研究費補助金
ナノレベル骨微細構造解析によるインプラント荷重条件の解明	澤瀬 隆	歯科補綴学第一	1,100,000円	補 文部科学省 科学研究費補助金

小計 27

(注) 1 国、地方公共団体又は公益法人から補助金の交付又は委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に行った研究のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。

2 「研究者氏名」欄は、1つの研究について研究者が複数いる場合には、主たる研究者の氏名を記入すること。

3 「補助元又は委託元」欄は、補助の場合は「補」、委託の場合は「委」、○印をつけた上で、補助元又は委託元を記入すること。

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
平戸市地域医療人材育成事業	調 漸	へき地病院再生支援・教育機構	23,000,000円	委 平戸市
小児等在宅医療連携拠点病院事業	岡田 雅彦	小 児 科	17,800,000円	委 長崎県
成人T細胞白血病に対する新しいクラス1 HDAC阻害剤としてのHBI-8000の効果の評価	長谷川 寛雄	検 査 部	8,000,000円	委 HUYA Bioscience International
長崎県医師臨床研修(新・鳴滝塾)事業	浜田 久之	医療教育開発センター	7,500,000円	委 長崎県医師臨床研修協議会
医療におけるワークライフバランスセンター事業	伊東 昌子	メディカルワークライフバランスセンター	6,691,000円	委 長崎県
ツバキ油等の安定供給と新需要開拓のための品質特性強化技術の開発	宇谷 厚志	皮 膚 科	6,510,000円	委 農林水産省
ながさき地域医療人材支援センター業務	浜田 久之	医療教育開発センター	6,000,000円	委 長崎県
認知症疾患医療センター運営事業	小澤 寛樹	精神科神経科	5,585,000円	委 長崎県
創薬コンセプトに基づく戦略的治療デザインの確立(白血病ゲノムに基づく層別化治療の確立)	宮崎 泰司	血 液 内 科	5,000,000円	委 独立行政法人国立病院機構名古屋医療センター
骨代謝制御メカニズムの解明と骨粗鬆症への応用	伊東 昌子	メディカルワークライフバランスセンター	4,000,000円	委 独立行政法人国立長寿医療研究センター
性ホルモン応答遺伝子を標的としたキメラsiRNAおよびsiRNAのDrug Delivery System(ナノボール)に関する研究	佐々木 均	薬 剤 部	3,900,000円	委 独立行政法人医薬基盤研究所
「早期診断マルチバイオマーカー開発」(がん細胞が特異的に生成するシェディング産物の網羅的解析によるがんの早期診断システムの開発)	七島 篤志	第 一 外 科	1,900,000円	委 国立大学法人宮崎大学
専門分野における質の高い看護師育成事業(がん看護)の実務研修	貞方 三枝子	看 護 部	1,770,000円	委 長崎県
平成25年度長崎地域リハビリテーション広域支援センター事業	松坂 誠應	リハビリテーション部	1,675,500円	委 長崎県
平成25年度長崎・ヒバクシャ医療国際協会業務	山下 俊一	国際ヒバクシャ医療センター	1,301,076円	委 長崎・ヒバクシャ医療国際協会
歯髄幹細胞を用いた歯髄・象牙質再生によるう蝕・歯髄疾患治療法の臨床応用開発	林 善彦	義歯補綴治療室	1,000,000円	委 独立行政法人国立長寿医療研究センター
歯周疾患検診の実施及び評価と佐世保市の歯・口腔の健康づくりに関する研究	福田 英輝	予 防 歯 科 室	1,000,000円	委 佐世保市
HIV感染者等保健福祉相談事業	泉川 公一	感染制御教育センター	1,000,000円	委 公益財団法人エイズ予防財団
院内感染地域支援ネットワーク事業	泉川 公一	感染制御教育センター	922,000円	委 長崎県
高齢者造血管障害における層別化治療を目指した分子疫学的研究	宮崎 泰司	血 液 内 科	700,000円	委 独立行政法人国立長寿医療研究センター
エストロゲン受容体陽性HER2陰性乳癌に対するS-1術後療法ランダム化比較第Ⅲ相試験(研究略称名:POTENT)	矢野 洋	第 一 外 科	600,000円	委 公益財団法人パブリックヘルスリサーチセンター
難治性白血病に対する標準的治療法の確立に関する研究	宮崎 泰司	血 液 内 科	500,000円	委 独立行政法人国立がん研究センター
障がい児のう蝕・歯周疾患等の歯科健診及びその評価と、障がい児のう蝕・歯周疾患等の予防に関する研究	藤原 卓	小 児 歯 科	353,000円	委 佐世保市
StageⅢ結腸癌治療切除例に対する術後補助化学療法としてのmFOLF0X6療法またはXELOX療法における5-FU系抗がん剤およびオキサリプラチンの至適投与期間に関するランダム化第Ⅲ相比較臨床試験ACHIEVE Trial (JFMC47-1202-C3)	竹下 浩明	第 一 外 科	210,000円	委 公益財団法人がん集学的治療研究財団
日本人のアルツハイマー型認知症患者を対象とした抗精神病薬のリスクに関する検討	小澤 寛樹	精神科神経科	200,000円	委 特定非営利活動法人老年精神医学分野治験支援機構
HIV診療医師情報網支援事業	泉川 公一	感染制御教育センター	200,000円	委 九州ブロックエイズ診療ネットワーク
平成25年度介護予防防事者研修会事業	松坂 誠應	リハビリテーション部	150,000円	委 長崎県

小計 27

(注) 1 国、地方公共団体又は公益法人から補助金の交付又は委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に行った研究のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。

2 「研究者氏名」欄は、1つの研究について研究者が複数いる場合には、主たる研究者の氏名を記入すること。

3 「補助元又は委託元」欄は、補助の場合は「補」に、委託の場合は「委」に、○印をつけた上で、補助元又は委託元を記入すること。

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

(1)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象となる論文

番号	発表者氏名	発表者の所属	題名	雑誌名
1	Kawashiri S	Department of Immunology and Rheumatology	Musculoskeletal ultrasonography assists the diagnostic performance of the 2010 classification criteria for rheumatoid arthritis.	Mod Rheumatol. 23(1): 36-43, 2013
2	Kawashiri S.	Department of Immunology and Rheumatology	Usefulness of ultrasonography-proven tenosynovitis to monitor disease activity of a patient with very early rheumatoid arthritis treated by abatacept.	Mod Rheumatol. 23(3): 582-586, 2013
3	Horai Y	Unit of Translational Medicine, Department of Immunology and Rheumatology	Takayasu arteritis developing during treatment of ulcerative colitis with infliximab.	Mod Rheumatol. 23(3): 572-576, 2013
4	Kita J	Unit of Translational Medicine, Department of Immunology and Rheumatology	Significant improvement in MRI-proven bone edema is associated with protection from structural damage in very early RA patients managed using the tight control approach.	Mod Rheumatol. 23(2): 254-259, 2013
5	Horai Y	Unit of Translational Medicine, Department of Rheumatology	Early diagnosis and treatment for remission of clinically amyopathic dermatomyositis complicated by rapid progress interstitial lung disease: a report of two cases.	Mod Rheumatol. 23(1):190-194, 2013
6	Nakamura H	Unit of Translational Medicine, Department of Immunology and Rheumatology	HTLV-I virological and histopathological analysis in two cases of anti-centromere-antibody-seropositive Sjögren's syndrome.	Mod Rheumatol. 23(1): 133-139, 2013
7	Nakamura H	Unit of Translational Medicine, Department of Immunology and Rheumatology	TLR3-mediated apoptosis and activation of phosphorylated Akt in the salivary gland epithelial cells of primary Sjögren's syndrome patients.	Rheumatol Int.33(2): 441-450, 2013
8	Koga T	Unit of Translational Medicine, Department of Immunology and Rheumatology	Renal thrombotic microangiopathies/thrombotic thrombocytopenic purpura in a patient with primary Sjögren's syndrome complicated with IgM monoclonal gammopathy of undetermined significance.	Rheumatol Int. 33(1): 227-230, 2013
9	Koga T	Unit of Translational Medicine, Department of Immunology and Rheumatology	Sweet's syndrome complicated by Kikuchi's disease and hemophagocytic syndrome which presented with retinoic acid-inducible gene-I in both the skin epidermal basal layer and the cervical lymph nodes.	Intern Med.52(16): 1839-1843, 2013
10	Nakamura H	Department of Immunology and Rheumatology	Development of adult T-cell leukemia in a patient with rheumatoid arthritis treated with tocilizumab.	Intern Med. 52(17), 2013
11	Ichinose K	Department of Rheumatology, Unit of Translational Medicine	An elderly patient with chronic active Epstein-Barr virus infection with mixed cryoglobulinemia and review of the literature.	Mod Rheumatol. 23(5): 1022-1028, 2013
12	Hamaue Y	Department of Locomotive Rehabilitation Science, Unit of Rehabilitation Sciences	Immobilization-induced hypersensitivity associated with spinal cord sensitization during cast immobilization and after cast removal in rats.	J Physiol Sci. 63(6): 401-408, 2013
13	Nishino A	Unit of Translational Medicine, Department of Immunology and Rheumatology	Two rare cases of adult-onset phalangeal microgeodic syndrome with magnetic resonance imaging-proven bone edema transiently occurring in winter.	Joint Bone Spine. 80(5): 523-524,2013
14	Kuriya G	Department of Endocrinology and Metabolism	Double deficiency in IL-17 and IFN γ the development of diabetes in the NOD mouse.	Diabetologia. 56(8): 1773-1780, 2013
15	Kobayashi M	Department of Endocrinology and Metabolism, Unit of Translational Medicine	Genetic deletion of granzyme B does not confer resistance to the development of spontaneous diabetes in non-obese diabetic mice.	Clin Exp Immunol. 173(3): 411-418, 2013
16	Ando T	First Department of Medicine	Aggressive pulmonary calcification developed after living donor kidney transplantation in a patient with primary hyperparathyroidism.	Transplant Proc. 45(7):2825-2830,2013

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

(1)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象となる論文

番号	発表者氏名	発表者の所属	題名	雑誌名
17	Yasui J	Department of Endocrinology and Metabolism	Successful Visualization of an Indeterminate Hepatic Metastasis From Thyroid Carcinoma Using Contrast-Enhanced CT and Contrast-Enhanced Ultrasound.	J Clin Endocrinol Metab. 98(7): 2639-2640, 2013
18	Ando T	Department of Endocrinology and Metabolism	Gross Hematuria and Bladder Tumor in a Patient with Advanced Thyroid Papillary Carcinoma.	Case Report in Endocrinology. ID585781, 2013
19	Shimizu Y	Department of Community Medicine	Association between alkaline phosphatase and hypertension in a rural Japanese population: the Nagasaki Islands study.	J Physiol Anthropol. 32(1): 10, 2013
20	Shimizu Y	Department of Community Medicine	Free thyroxine (FT4) and anemia in relation to drinking status of Japanese men: the Nagasaki islands study.	Endocr J. 60(9):1029-1034, 2013
21	Morita N	Atomic Bomb Disease Institute	Spatiotemporal characteristics of internal radiation exposure in evacuees and first responders after the radiological accident in Fukushima.	Radiat Res. 180(3): 299-306, 2013
22	Nakata R	Department of Clinical Neuroscience and Neurology	Thymus histology and concomitant autoimmune diseases in Japanese patients with muscle-specific receptor tyrosine kinase-antibody-positive myasthenia gravis.	Eur J Neurol. 20(9): 1272-1276, 2013
23	Yamamoto Y	Department of Molecular Microbiology and Immunology	Prospective randomized comparison study of piperacillin/tazobactam and meropenem for healthcare-associated pneumonia in Japan.	J Infect Chemother. 19: 291-298, 2013
24	Kohno S	Department of Molecular Microbiology and Immunology	A double-blind comparative study of the safety and efficacy of caspofungin versus micafungin in the treatment of candidiasis and aspergillosis.	Eur J Clin Microbiol Infect Dis. 32: 387-397, 2013
25	Hosogaya N	Department of Molecular Microbiology and Immunology	The heme-binding protein Dap1 links iron homeostasis to azole resistance via the P450 protein Erg11 in <i>Candida glabrata</i> .	FEMS Yeast Res. 13: 411-421,2013
26	Nagaoka K	Department of Laboratory Medicine	Macrolides inhibit <i>Fusobacterium nucleatum</i> -induced MUC5AC production in human airway epithelial cells.	Antimicrob Agents Chemother. 57: 1844-1849, 2013
27	Harada Y	Department of Laboratory Medicine	In vivo efficacy of daptomycin against methicillin-resistant <i>Staphylococcus aureus</i> in a mouse model of hematogenous pulmonary infection.	Antimicrob Agents Chemother. 57: 2841-2844,2013
28	Tanaka A	Department of Molecular Microbiology and Immunology	Toll-like receptor 4 agonistic antibody promotes innate immunity against severe pneumonia induced by coinfection with influenza virus and <i>Streptococcus pneumoniae</i> .	Clin Vaccine Immunol. 20: 977-985,2013
29	Miyayama Y	Department of Laboratory Medicine	Efficacy of AiiM, an N-acylhomoserine lactonase, against <i>Pseudomonas aeruginosa</i> in a mouse model of acute pneumonia.	Antimicrob Agents Chemother. 57: 3653-3658, 2013
30	Yamada K	Department of Laboratory Medicine	Azithromycin attenuates lung inflammation in a mouse model of ventilator associated pneumonia by multidrug-resistant <i>Acinetobacter baumannii</i> .	Antimicrob Agents Chemother. 57: 3883-3888, 2013
31	Yamada K	Department of Laboratory Medicine	In vivo efficacy of biapenem with ME1071, a novel metallo-β-lactamase (MBL) inhibitor, in a murine model mimicking ventilator-associated pneumonia caused by MBL-producing <i>Pseudomonas aeruginosa</i> .	Int J Antimicrob Agents. 42: 238-243, 2013
32	Takazono T	Department of Internal Medicine	Cavitary pulmonary metastases and aspergillosis: an autopsy case.	Intern Med. 52: 1751-1752, 2013
33	Nagaoka K	Department of Laboratory Medicine	Establishment of a new murine model of liver abscess induced by <i>Fusobacterium necrophorum</i> injected into the caudal vein.	J Med Microbiol 62:1755-1759, 2013
34	Kohno S	Second Department of Internal Medicine	Early switch therapy from intravenous sulbactam/ampicillin to oral garenoxacin in patients with community-acquired pneumonia: a multicenter, randomized study in Japan.	J Infect Chemother 19:1035-1041, 2013

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

(1)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象となる論文

番号	発表者氏名	発表者の所属	題名	雑誌名
35	Kohno S	Nagasaki University Hospital	Clinical dose findings of sitafloxacin treatment: pharmacokinetic-pharmacodynamic analysis of two clinical trial results for community-acquired respiratory tract infections.	J Infect Chemother 19:486-494, 2013
36	Araki N	Department of Laboratory Medicine	Molecular characterization of quinolone-insensitive Streptococcus pneumoniae isolates from Japanese patients.	J Infect Chemother 19:356-359, 2013
37	Suzuki Y	Department of Laboratory Medicine	Relationships of diverse apoptotic death process patterns to mitochondrial membrane potential ($\Delta \Psi (m)$) evaluated by three-parameter flow cytometric analysis.	Cytotechnology 65:59-70, 2013
38	Matsuse H	Second Department of Internal Medicine	Dissociation between sensitizing and colonizing fungi in patients with allergic bronchopulmonary	Ann Allergy Asthma Immunol 111: 190-193, 2013
39	Matsuse H	Second Department of Internal Medicine	Differential airway inflammatory responses in asthma exacerbations induced by respiratory syncytial virus and influenza virus.	Int Arch Allergy Immunol 161: 378-382, 2013
40	Matsuse H	Second Department of Internal Medicine	Differential effects of dexamethasone and itraconazole on Aspergillus fumigatus-exacerbated allergic airway inflammation in a murine model of mite-sensitized asthma.	Respiration 85: 429-35, 2013
41	Matsuse H	Second Department of Internal Medicine	Retrospective cohort study of leukotriene receptor antagonist in preventing upper respiratory tract infection-induced acute asthma exacerbation.	Allergy Rhinol 4: e127-e131, 2013
42	Motoshima K	Second Department of Internal Medicine	Phase II trial of erlotinib in patients with advanced non small cell lung cancer harboring epidermal growth factor receptor mutations: additive analysis of pharmacokinetics.	Cancer Chemother Pharmacol 72: 1299-1304, 2013
43	Tomonaga N	Second Department of Internal Medicine	Analysis of intratumor heterogeneity of EGFR mutations in mixed type lung adenocarcinoma.	Clin Lung Cancer 14: 521-526, 2013
44	Hara S	Second Department of Internal Medicine	Clinical, serologic and magnetic resonance imaging of 3 cases of inflammatory myopathy with abundant macrophages in the Japanese population.	Rheumatology international 33:1059-1064, 2013
45	Hara S	Second Department of Internal Medicine	Diffuse alveolar hemorrhage in a patient with ankylosing spondylitis.	Internal medicine 52:1963-1966, 2013
46	Kakugawa T	Second Department of Internal Medicine	Interstitial pneumonia associated with linear immunoglobulin A/immunoglobulin G bullous dermatosis.	Respiration 86:347-351, 2013
47	Kakugawa T	Second Department of Internal Medicine	Serum heat shock protein 47 levels are elevated in acute exacerbation of idiopathic pulmonary fibrosis.	Cell Stress Chaperones 18: 581-590, 2013
48	Kakugawa T	Second Department of Internal Medicine	Serum heat shock protein 47 levels in patients with drug-induced lung disease.	Respir Res133: 2013
49	Nakazawa Y	Second Department of Internal Medicine	Recombinant human erythropoietin attenuates renal tubulointerstitial injury in murine adriamycin-induced nephropathy.	J Nephrol 26: 527-533, 2013
50	Hirose M	Second Department of Internal Medicine	22-Oxalacitriol prevents progression of peritoneal fibrosis in a mouse model.	Perit Dial Int 33: 132-142, 2013
51	Nakazawa M	Second Department of Internal Medicine	Involvement of leptin in the progression of experimentally induced peritoneal fibrosis in mice.	Acta Histochem Cytochem 46: 75-84, 2013
52	Uramatsu T	Second Department of Internal Medicine	Involvement of apoptosis inhibitor of macrophages in a rat hypertension model with nephrosclerosis: possible mechanisms of action of olmesartan and azelnidipine.	Biol Pharm Bull 36: 1271-1277, 2013
53	Mori A	Second Department of Internal Medicine	The Effect of Active Vitamin D Administration on Muscle Mass in Hemodialysis Patients.	Clin Drug Investig 33: 837-846, 2013
54	Minami H	Department of Gastroenterology and Hepatology	Improvement of endocytoscopic findings after per oral endoscopic myotomy (POEM) in esophageal achalasia: does POEM reduce the risk of developing esophageal carcinoma? Per oral endoscopic myotomy, endocytoscopy and carcinogenesis.	BMC Gastroenterol 13(1): 22-30, 2013
55	Yajima H	Department of Molecular Microbiology and Immunology	Novel serine/threonine kinase 11 gene mutations in Peutz-Jeghers syndrome patients and endoscopic management.	World J Gastrointest Endosc 5(3): 102-110, 2013
56	Miyaaki H	Department of Gastroenterology and Hepatology	Two difficulty diagnosis cases of severe veno-occlusive disease.	Am J Case Rep 14: 86-90, 2013

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

(1)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象となる論文

番号	発表者氏名	発表者の所属	題名	雑誌名
57	Matsuzaki T	Department of Gastroenterology and Hepatology	Significance of hepatitis B virus core-related antigen and covalently closed circular DNA levels as markers of hepatitis B virus re-infection after liver transplantation.	J Gastroenterol Hepatol 28(7): 1217-1222, 2013
58	Taura N	Department of Gastroenterology and Hepatology	Frequency of elevated biomarkers in patients with cryptogenic hepatocellular carcinoma.	Med Sci Monit 19: 742-750, 2013
59	Akazawa Y	Department of Gastroenterology and Hepatology	Endoplasmic Reticulum Stress Contributes to Helicobacter Pylori VacA-Induced Apoptosis.	PLoS One 8(12): e82322, 2013
60	Minami H	Department of Gastroenterology and Hepatology	Education and imaging. Gastrointestinal: background coloration in detecting early esophageal squamous cell carcinoma.	J Gastroenterol Hepatol 28(12): 1799, 2013
61	Nakao K	Department of Gastroenterology and Hepatology	Recent topics on α -fetoprotein.	Hepatol Res 43(8): 820-825, 2013
62	Ichikawa T	Department of Gastroenterology and Hepatology	Branched-chain amino acid-enriched snacks for sleep disturbance.	The Handbook of nutrition, diet and sleep; Human Health Handbooks, volume 3, SpringerLink, pp.450-459) 2013
63	Koga S	Department of Cardiovascular Medicine	Effects of nasal continuous positive airway pressure on the glomerular filtration rate in patients with obstructive sleep apnea syndrome.	Intern Med 52(3): 345-349, 2013
64	Kawano H	Department of Cardiovascular Medicine	Successful Treatment of Heart Failure in an Adult Patient with Prader-Willi Syndrome.	Intern Med 52(7): 771-776, 2013
65	Kawano H	Department of Cardiovascular Medicine	Mitral Regurgitation Induced by a Migrating Sewing Needle.	Intern Med 52(17): 1995-1996, 2013
66	Koga S	Department of Cardiovascular Medicine	Elevated Levels of Systemic Pentraxin 3 Are Associated With Thin-Cap Fibroatheroma in Coronary Culprit Lesions.	JACC Cardiovasc Interv 6(9): 945-954, 2013
67	Kusumoto S	Department of Cardiovascular Medicine	Cyclophosphamide-induced Cardiotoxicity with a Prolonged Clinical Course Diagnosed on an Endomyocardial Biopsy.	Intern Med 52(20): 2311-2315, 2013
68	Iwanaga R	Division of Physical and Occupational	Usefulness of near-infrared spectroscopy to detect brain dysfunction in children with autism spectrum disorder when inferring the mental state of others.	Psychiatry Clin Neurosci 67(4): 203-9, 2013
69	Nakano T	Department of Psychiatry	Modified electroconvulsive therapy for the treatment of refractory schizophrenia-like psychosis associated with Huntington's disease.	Journal of Neurology 260(1): 312-4, 2013
70	Iguchi A	Course of Health Sciences, Department of Neuropsychiatry	Relationship Between depression in Patients with Chronic Obstructive Pulmonary Disease and the Percent FEV ₁ , BODE Index, and Health-Related QOL.	RESPIRATORY CARE (58)2, 334-339, 2013
71	Yoshida LM	Institute of Tropical Medicine	Incidence of Radiologically-Confirmed Pneumonia and Haemophilus influenzae Type b Carriage before Haemophilus influenzae Type b Conjugate Vaccine Introduction in Central Vietnam.	J Pediatr 163(1 Suppl):S38-43, 2013
72	Yoshida LM	Department of Clinical Medicine, Institute of Tropical Medicine	Respiratory syncytial virus: co-infection and paediatric lower respiratory tract infections.	Eur Respir J 42(2):461-9, 2013
73	Harada Y	Department of Clinical Medicine, Institute of Tropical Medicine	Does respiratory virus coinfection increases the clinical severity of acute respiratory infection among children infected with respiratory syncytial virus?	Pediatr Infect Dis J 52(5):441-5, 2013
74	Moriuchi H	Departments of Pediatrics	Mother-to-child Transmission of Human T-cell Lymphotropic Virus Type 1.	Pediatr infect Dis J 32(2):175-177, 2013
75	Miyazaki T	Division of Surgical Oncology	Two case reports of successful withdrawal of mycophenolate mofetil after living donor lobar lung transplantation.	Transplant Proc 45(1): 356-359, 2013

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

(1)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象となる論文

番号	発表者氏名	発表者の所属	題名	雑誌名
76	Takagi K	Division of Surgical Oncology, Department of Translational Medical Sciences	Novel biodegradable powder for preventing postoperative pleural adhesion.	J Surg Res 179(1): e1-e9, 2013
77	Nanashima A	Division of Surgical Oncology and Department of Surgery	Predictors of intraoperative blood loss in patients undergoing hepatectomy.	Surg Today 43(5): 485-493, 2013
78	Nanashima A	Department of Surgery, Division of Surgical Oncology	Usefulness of examining hepatic functional volume using technetium-99m galactosyl serum albumin scintigraphy in hepatocellular carcinoma.	Nucl Med Commun 34(5): 478-488, 2013
79	Nanashima A	Division of Surgical Oncology and Department of Surgery	Clinical Significances of Cancer Stem Cells Markers in Patients with Intrahepatic Cholangiocarcinoma who Underwent Hepatectomy.	Anticancer Res 33(5): 2107-2114, 2013
80	Matsumoto K	Division of Surgical Oncology, Department of Translational Medical Sciences	Thoracoscopic surgery for lung emphysema using an infrared camera.	J Cardiothorac Surg 24(8): 134-136, 2013
81	Nonaka Y	Division of Surgical Oncology	Synergic effect of photodynamic therapy using talaporfin sodium with conventional anticancer chemotherapy for the treatment of bile duct carcinoma.	J Surg Res 181(2): 234-241, 2013
82	Nanashima A	Division of Surgical Oncology and Department of Surgery	Recent advances and significance of intra-arterial infusion chemotherapy in non-resectable colorectal liver metastasis.	J Gastrointest Oncol 4(2): 164-172, 2013
83	Nanashima A	Division of Surgical Oncology and Department of Surgery	NX-PVKA Levels Before and After Hepatectomy of Hepatocellular Carcinoma as Predictors of Patient Survival: A Preliminary Evaluation of An Improved Assay for PIVKA-II.	Anticancer Research 33(6):2689-2698, 2013
84	Nanashima A	Division of Surgical Oncology, Department of Surgery	Dose the placement of a cystic duct tube after a hepatic resection help reduce the incidence of post-operative bile leak?	HPB 15(7): 517-522, 2013
85	Nanashima A	Division of Surgical Oncology, Department of Surgery	Correlation between morphological and functional liver volume in each sector using integrated SPECT/CT imaging by computed tomography and technetium-99m galactosyl serum albumin scintigraphy in patients with various diseases who had undergone hepatectomy.	Nucl Med Commun 34(7): 652-659, 2013
86	Nanashima A	Division of Surgical Oncology, Department of Surgery	Comparison of Results between Pylorus-Preserving Pancreaticoduodenectomy and Subtotal Stomach-Preserving Pancreaticoduodenectomy: Report at a Single Cancer Institute.	Hepato-gastroenterol 60(125): 1182-1188, 2013
87	Nanashima A	Division of Surgical Oncology, Department of Surgery	Predictive Parameters of Intraoperative Blood Loss in Patients who Underwent Pancreatectomy.	Hepato-gastroenterol 60(125): 1217-1221, 2013
88	Nanashima A	Division of Surgical Oncology, Department of Surgery	Intrahepatic cholangiocarcinoma: relationship between tumor imaging enhancement by measuring attenuation and clinicopathologic characteristics.	Abdom Imaging 38(4): 785-792, 2013
89	Nanashima A	Division of Surgical Oncology, Department of Surgery	Usefulness of vessel-sealing devices combined with crush clamping method for hepatectomy: a retrospective cohort study.	Int J Surg 11(9): 891-897,2013
90	Nakao K	Department of Surgical Oncology	A predictive factor of the quality of microarray comparative genomic hybridization analysis for formalin-fixed paraffin-embedded archival tissue.	Diagn Mol Pathol 22(3): 174-178, 2013
91	Chen X	Department of Histology and Cell Biology	High expression of trimethylated histone H3 at lysine 27 predicts better prognosis in non-small cell lung cancer.	Int J Oncol 43(5): 1467-1480,2013

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

(1)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象となる論文

番号	発表者氏名	発表者の所属	題名	雑誌名
92	Nanashima A	Department of Histology and Cell Biology	Functional liver reserve parameters predictive for posthepatectomy complications.	J Surg Res 185(1): 127-135, 2013
93	Takuro Miyazaki	Division of Surgical Oncology, Department of Surgery	Primary Adenocarcinoma of the Bronchus; Palliative Resection with Rigid Bronchoscopy, Followed Curative Pulmonary Sleeve Resection; Report of a Case.	Ann Thorac Cardiovasc Surg 1-4, 2013
94	Takagi K	Division of Surgical Oncology, Department of Translational Medical Sciences	Novel Powdered Anti-adhesion Material: Preventing Postoperative Intra-abdominal Adhesions in a Rat Model.	Int J Med Sci 10(4): 467-474, 2013
95	Matsushima H	Department of Surgery	The outcomes of patients with severe hyperbilirubinemia following living donor liver transplantation.	Dig Dis Sci. 58(5):1410-1414, 2013
96	Kanetaka K	Department of Surgery	Clinical significance of carcinoembryonic antigen in peritoneal lavage from patients with gastric cancer.	Surgery. 154(3):563-572, 2013
97	Tanaka T	Department of Surgery	Evaluation of SOX9 expression in pancreatic ductal adenocarcinoma and intraductal papillary mucinous neoplasm.	Pancreas. 42(3):488-493, 2013
98	Eguchi S	Department of Surgery	False positivity for the human immunodeficiency virus antibody after influenza vaccination in a living donor for liver transplantation.	Liver Transpl. 19(6):666, 2013
99	Eguchi S	Department of Surgery	Is low central venous pressure effective for postoperative care after liver transplantation?	Surg Today. 43(7):828-829, 2013
100	Sakimura C	Department of Surgery	Can the use of intraoperative intact parathyroid hormone monitoring be abandoned in patients with hyperparathyroidism?	Am J Surg. 206(4):574-577, 2013
101	Miyazaki K	Department of Surgery	Construction of liver tissue in vivo with preparative partial hepatic irradiation and growth stimulus: investigations of less invasive techniques and progenitor cells.	J Surg Res. 185(2):889-895, 2013
102	Kuroki T	Department of Surgery	Combined resection for multifocal lesions of the pancreas.	Hepatogastroenterology. 60(124):854-857, 2013
103	Muraoka I	Department of Surgery	Transition of serum alkaline phosphatase isoenzymes during liver regeneration in humans.	Hepatogastroenterology. 60(126):1476-1478, 2013
104	Tanaka T	Department of Surgery	Is a fluorescence navigation system with indocyanine green effective enough to detect liver malignancies?	J Hepatobiliary Pancreat Sci. 43(7):715-719, 2013
105	Tanaka T	Department of Surgery	Evaluation of immune function under conversion from Prograf to Advagraf in living donor liver transplantation.	Ann Transplant. 14;18:293-298, 2013
106	Hamasaki K	Department of Surgery	Chronological changes in the liver after temporary partial portal venous occlusion.	World J Gastroenterol. 2013 Sep 14;19(34):5700-5705
107	Tanaka T	Department of Surgery	Development of a novel rat model with pancreatic fistula and the prevention of this complication using tissue-engineered myoblast sheets.	J Gastroenterol. 48(9):1081-1089, 2013
108	Tanaka T	Department of Surgery	Endoscopic transpapillary pancreatic stenting for internal pancreatic fistula with the disruption of the pancreatic ductal system.	Pancreatology. 13(6):621-624, 2013
109	Imamura H	Department of Surgery	Self-assessment of postoperative scars in living liver donors.	Clin Transplant. 27(6):E605-610, 2013
110	Yamaguchi I	Department of Surgery	A novel animal model of long-term sustainable anal sphincter dysfunction.	J Surg Res. 184(2):813-818, 2013
111	Kuroki T	Department of Surgery	Pancreatic islet autotransplantation with total pancreatectomy for chronic pancreatitis.	Surg Today. 43(7):715-719, 2013
112	Sakai Y	Department of Surgery	Rapid fabricating technique for multi-layered human hepatic cell sheets by forceful contraction of the fibroblast monolayer.	PLoS One. 8(7): e70970, 2013
113	Eguchi S	Department of Surgery	Evaluation of portal hypertension and prognosis of patients with HIV/HCV co-infection through contaminated blood product in Japan—timing for liver transplantation.	The 13th Congress of the Asian Society of Transplantation. p90, 2013
114	Baba H	Department of Orthopaedic Surgery	Tuberculosis Affecting Multiple Vertebral Bodies.	Asian Spine Journal 7:222-226, 2013

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

(1)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象となる論文

番号	発表者氏名	発表者の所属	題名	雑誌名
115	Kitahara H	Department of Orthopaedic Surgery	Clinical and histomorphometrical study on titanium dioxide-coated external fixation pins.	Int J Nanomedicine 8: 593-599, 2013
116	Shida T	Department of Orthopedic	Adherence ability of Staphylococcus epidermidis on prosthetic biomaterials: an in vitro study.	Int J Nanomedicine 8: 3955-3961, 2013
117	Tsurumoto T	Department of Macroscopic Anatomy	Periarticular osteophytes as an appendicular joint stress marker (JSM): Analysis in a contemporary Japanese skeletal Collection.	PLOS ONE 8, e57049.DOI: 10.1371, 2013
118	Ogawa A	Department of Dermatology	A case of palmoplantar lichen planus in a patient with congenital sensorineural deafness.	Clin Exp Dermatol 38(1): 30-32, 2013
119	Mizokami F	Department of Dermatology	Definitions of the physical properties of pressure ulcers and characterisation of their regional variance.	Int Wound J 10(5): 606-611, 2013
120	Hamaguchi Y	Department of Dermatology	A neonatal case of Japanese spotted fever.	Pediatr Infect Dis,32(11):1286-1287,2013
121	Miyata Y	Department of Nephro-Urology	Feline sarcoma-related protein expression correlates with malignant aggressiveness and poor prognosis in renal cell carcinoma.	Cancer Sci 104(6):681-686, 2013
122	Miyata Y	Department of Nephro-Urology	CD105 is a more appropriate marker for evaluating angiogenesis in urothelial cancer of the upper urinary tract than CD31 or CD34	Virchows Arch 463(5):673-679,2013
123	Miyata Y	Department of Nephro-Urology	Tumor-associated stromal cells expressing E-prostanoid 2 or 3 receptors in prostate cancer: correlation with tumor aggressiveness and outcome by angiogenesis and lymphangiogenesis.	Urology 81(1):136-142, 2013
124	Miyata Y	Department of Nephro-Urology	High expression of HuR in cytoplasm, but not nuclei, is associated with malignant aggressiveness and prognosis in bladder cancer.	PLoS One 8(3):e59095, 2013
125	Matsuo T	Department of Nephro-Urology	Renoprotective effects of telmisartan after unilateral renal ablation in rats.	Int J Nephrol Renovasc Dis 6:207-214, 2013
126	Miyata Y	Department of Nephro-Urology	Thrombospondin-1 in urological cancer: pathological role, clinical significance, and therapeutic prospects.	Int J Mol Sci 14(6):12249-12272, 2013
127	Yamada Y	Department of Ophthalmology and Visual Sciences	Systemic factors influence the prognosis of diabetic macular edema after pars plana vitrectomy with internal limiting membrane peeling.	Ophthalmologica 229: 142-146, 2013
128	Yamada Y	Department of Ophthalmology and Visual Sciences	Imaging of laser-photocoagulated diabetic microaneurysm with spectral domain optical coherence tomography.	Retina-J-Ret Vit Dis 33: 726-731, 2013
129	Tsuiki E	Department of Ophthalmology and Visual Sciences	Enhanced Depth Imaging Optical Coherence Tomography of the Choroid in Central Retinal Vein Occlusion.	Am J Ophthalmol 156: 543-547, 2013
130	Fujiyama D	Department of Otolaryngology, Head and Neck Surgery	Observation of apoptosis and bone lamella structures in the human mastoid.	Otol Neurotol 34(8):1534-42,2013
131	Akiyama N	Department of Otolaryngology-Head and Neck Surgery	In situ tissue engineering with synthetic self-assembling peptide nanofiber scaffolds, PuraMatrix, for mucosal regeneration in the rat middle-ear.	Int J Nanomedicine 8(1):2629-40,2013
132	Sasaki M	Department of Radiology and Cancer Biology	Multiparametric MR imaging for differentiating between benign and malignant thyroid nodules : imital experience in 23 patients.	J Magn Reson Imaging 38(1):64-71,2013
133	Kumagami H	Department of Otolaryngology-Head and Neck Surgery	Distribution of glucocorticoid receptors and 11-hydroxysteroid dehydrogenase isoforms in the human inner ear.	Otol Neurotol 34(1): 151-7, 2013
134	Yoshida H	Department of Otolaryngology Head and Neck Surgery	Relationship between CT findings and sensorineural hearing loss in chronic otitis media.	Auris Nasus Larynx 2013 pii: S0385-8146(13)00212-5
135	Nakazawa Y	The Second Department of Internal Medicine	Tuberculous osteomyelitis in the ulna of a patient undergoing hemodialysis.	Internal Med 52:135-139,2013
136	Koike H	Department of Radiology	Pulmonary artery hypertension associated with systemic scleroderma: correlation among lung pulmonary blood volume, lung perfusion single photon emission computed tomography, and chest computed tomography images.	Circulation 127:141-142, 2013

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

(1)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象となる論文

番号	発表者氏名	発表者の所属	題名	雑誌名
137	Ishimaru H	Department of Radiology	Peri-stent aneurysm formation following a stent implant for stenotic intracranial vertebral artery dissection: a technical report of two cases successfully treated with coil embolization.	Neuroradiology 55:207-211, 2013
138	Hayashi K	Department of Neurosurgery	A case of iliac artery injury treated by covered stent during carotid artery stenting.	Acta Neurochirurgica 156:561-564, 2013
139	Sueyoshi E	Department of Radiology	Comparison of outcome in aortic dissection with single false lumen versus multiple false lumens: CT assessment.	Radiology 267:368-375, 2013
140	Nagayama H	Department of Radiology	Quantification of lung perfusion blood volume (lung PBV) by dual-energy CT in pulmonary embolism before and after treatment: preliminary results.	Clin Imag37:493-497, 2013
141	Nagayama H	Department of Radiology	Endovascular abdominal aortic aneurysm repair: surveillance of endoleak using maximum transverse diameter of aorta on non-enhanced CT.	Acta Radiol 53:652-656, 2013
142	Hasegawa Y	Department of Obstetrics and Gynecology	Identification of complete hydatidiform mole pregnancy-associated microRNAs in plasma.	Clin Chem.59(9):1410-2,2013
143	Khan KN	Department of Obstetrics and Gynecology	Pelvic pain in women with ovarian endometrioma is mostly associated with coexisting peritoneal lesions.	Human Reproduction 28(1):109-118,2013
144	Hamaguchi D	Department of Obstetrics and Gynecology	Initial viral load in cases of single human papillomavirus 16 or 52 persistent infection is associated with progression of later cytopathological findings in the uterine cervix.	J Med Virol. 85(12):2093-2100,2013
145	Abe S	Department of Obstetrics and Gynecology	Copy number variation of the antimicrobial-gene, defensin beta 4, is associated with susceptibility to cervical cancer.	J Hum Genet. 58(5):250-3,2013
146	Higashijima A	Department of Obstetrics and Gynecology	Characterization of placenta-specific microRNAs in fetal growth restriction pregnancy.	Prenat Diagn.33(3):214-22,2013
147	Sasaki K	Department of Human Genetics	Uniparental disomy analysis in trios using genome-wide SNP array and whole-genome sequencing data imply segmental uniparental isodisomy in general populations.	Gene 512(2):267-274,2013
148	Shibata I	Department of Anesthesiology	Milrinone and levosimendan administered after reperfusion improve myocardial stunning in swine.	Scandinavian Cardiovascular Journal 47(1): 50-57, 2013
149	Hayashi K	Department of Neurosurgery	A case of unilateral moyamoya disease suffered from intracerebral hemorrhage due to the rupture of cerebral aneurysm, which appeared seven years later.	Surg Neurol Int 4: 17, 2013
150	Hayashi K	Department of Neurosurgery	An epidemiological survey of moyamoya disease, unilateral moyamoya disease and quasi-moyamoya disease in Japan.	Clin Neurol Neurosurg 115(7): 930-933, 2013
151	Ishizaka S	Department of Neurosurgery	Intra-Arterial Cell Transplantation Provides Timing-Dependent Cell Distribution and Functional Recovery After Stroke.	Stroke 44(3): 720-726,2013
152	Horai S	Department of Neurosurgery	Cilostazol strengthens barrier integrity in brain endothelial cells.	Cell Mol Neurobiol 33(2): 291-307, 2013
153	Morofuji Y	Department of Neurosurgery	Radiological findings of orbital infarction syndrome following intracranial aneurysm surgery.	Clin Neurol Neurosurg.115(8): 1546-1548, 2013
154	Toyoda K	Department of Neurosurgery	Initial Contact of Glioblastoma Cells with Existing Normal Brain Endothelial Cells Strengthen the Barrier Function via Fibroblast Growth Factor 2 Secretion: A New In Vitro Blood-Brain Barrier Model	Cell Mol Neurobiol 33(2): 489-501,2013
155	Hamuy R	Division of Plastic and Reconstructive Surgery, Department of Developmental and Reconstructive Medicine	One-stage, simultaneous skin grafting with artificial dermis and basic fibroblast growth factor successfully improves elasticity with maturation of scar formation.	Wound Repair Regen, 21: 141-154, 2013

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

(1)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象となる論文

番号	発表者氏名	発表者の所属	題名	雑誌名
156	Akita S	Division of Plastic and Reconstructive Surgery, Department of Developmental and Reconstructive Medicine	Basic fibroblast growth factor in scarless wound healing.	Adv Wound Care, 2: 44-49, 2013
157	Kashiyama K	Department of Plastic and Reconstructive Surgery, Graduate School of Biomedical Sciences	Malfunction of nuclease ERCC1-XPF results in diverse clinical manifestations and causes Cockayne syndrome, xeroderma pigmentosum, and Fanconi anemia.	Am J Hum Genet. 2;92: 807-19, 2013
158	Origuchi T	Department of Rehabilitation Sciences	Three cases of IgG4-related orbital inflammation presented as unilateral pseudotumor and review of the literature.	Rheumatol Int 33(11): 2931-6, 2013
159	Ariyoshi T	The Department of Cardiovascular Surgery	Which type of secondary tricuspid regurgitation accompanying mitral valve disease should be surgically treated?	Ann Thorac Cardiovasc Surg 19(6):428-434, 2013
160	Miura T	The Department of Cardiovascular Surgery	Active infective endocarditis due to Erysipelothrix rhusiopathiae: zoonosis caused by vancomycin-resistant gram-positive rod.	Gen Thorac Cardiovasc Surg. 61(2): 96-99, 2013
161	Miura T	The Department of Cardiovascular Surgery	Current treatment of active infective endocarditis with brain complications.	Gen Thorac Cardiovasc Surg 61(10): 551-559, 2013
162	Hashizume K	The Department of Cardiovascular Surgery	Circumaortic left renal vein associated with juxtarenal abdominal aortic aneurysm.	Ann Vasc Dis 6(3): 658-661, 2013
163	Taniguchi S	The Department of Cardiovascular Surgery	Twelve-year of experience with the ATS mechanical heart valve prostheses.	7th Biennial Congress 2013 program, pp.46, 2013
164	Ando K	Department of Hematology, Atomic Bomb Disease and Hibakusha	Mutations in the nucleolar phosphoprotein, nucleophosmin, promote the expression of the oncogenic transcription factor MEF/ELF4 in leukemia cells and potentiates transformation.	J Biol Chem 288(13) : 9457-9467, 2013
165	Hsu WL	Radiation Effects Research Foundation	The Incidence of Leukemia, Lymphoma and Multiple Myeloma among Atomic Bomb Survivors: 1950-2001.	Radiat Res 179(3): 361-382, 2013
166	Fukushima T	Department of Hematology, Atomic Bomb Disease and Hibakusha Medicine Unit, Atomic Bomb	Feasibility of cord blood transplantation in chemosensitive adult T-cell leukemia/lymphoma: a retrospective analysis of the Nagasaki Transplantation Network.	Int J Hematol 97(4): 485-490, 2013
167	Taguchi M	Department of Hematology	Transient proliferation of donor-derived ATL cell-like lymphocytes early after allogeneic stem cell transplantation in an adult T-cell leukemia/lymphoma patient.	Blood 121(21): 4428-4430, 2013
168	Hata T	Department of Hematology, Atomic Bomb Disease Institute, Nagasaki	Long-term outcome of immunosuppressive therapy for Japanese patients with lower-risk myelodysplastic syndromes.	Int J Hematol 98(6): 687-693, 2013
169	Morinaga Y	Department of Laboratory Medicine	Pulmonary artery pseudoaneurysm caused by Streptococcus constellatus.	Int J Infect Dis 17(11):e1064-6, 2013
170	Tashiro T	Department of Health Sciences	A case series of chronic necrotizing pulmonary aspergillosis and a new proposal.	Jpn J Infect Dis 66(4):312-6, 2013
171	Morinaga Y	Department of Laboratory Medicine	Identification error of Aeromonas aquariorum: a causative agent of septicemia.	Diagn Microbiol Infect Dis 76(1):106-9 2013

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

(1)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象となる論文

番号	発表者氏名	発表者の所属	題名	雑誌名
172	Mihara T	Department of Molecular Microbiology and Immunology	Multilocus sequence typing of <i>Cryptococcus neoformans</i> in non-HIV associated cryptococcosis in Nagasaki, Japan.	Med Mycol 51(3):252-60, 2013
173	Hayashi T	Department of Pathology	Hybrid schwannoma/perineurioma of the spinal nerve: multifocal occurrence, and recurrence as an intraneural perineurioma.	Pathology international 63(7): 368-373,2013
174	Hayashi T	Department of Pathology	Difference of morphology and immunophenotype between central and peripheral squamous cell carcinomas of the lung.	Biomed Res Int. pp. 1-5, 2013
175	Isomoto H	Department of Gastroenterology and Hepatology	Magnifying Endoscopic Findings Can Predict Clinical Outcome during Long-Term Follow-Up of More Than 12 Months in Patients with Ulcerative Colitis.	Gastroenterol Res Pract. pp. 1-7, 2013
176	Okamoto K	Department of Macroscopic Morphology, Unit of Basic Medical Sciences	The nerves to the plantaris muscle and a bipennate part of the soleus muscle.	Anat Sci Int 88 (1), 17-24, 2013
177	Saiki K	Unit of Translational Medical Science, Department of Macroscopic Morphology	Relation between bilateral differences in internal jugular vein caliber and flow patterns of dural venous sinuses.	Anat Sci Int 88 (3), 141-150, 2013
178	Okamoto K	Department of Macroscopic Morphology, Unit of Basic Medical Sciences	A case of retroesophageal right subclavian artery, with special reference to the second intercostal artery, retroesophageal right vertebral artery, and thoracic duct.	Anat Sci Int 88 (4), 234-238, 2013
179	Kunihiko Tanaka	Department of Pharmacology	Blood-brain barrier as a tumor microenvironment	Journal of Pharmacological Sciences Vol.121 Suppl. 1 Page 25, 2013
180	Tateishi Y	Cerebrovascular Center	Measurement of Carotid Stenosis Using Duplex Ultrasonography with a Microconvex Array Transducer: A Validation with Cerebral Angiography.	Journal of Stroke and Cerebrovascular Diseases 22(8): e360-e365, 2013
181	Nakagawa J	Department of Emergency Medicine, Unit of Clinical Medicine	Reduction of thoracic aorta motion artifact with high-pitch 128-slice dual-source computed tomographic angiography: a historical control study.	J Comput Assist Tomogr 37(5):755-759, 2013
182	Muroya T	Department of Emergency Medicine (O.T.), Unit of Clinical Medicine	Delayed formation of splenic pseudoaneurysm following nonoperative management in blunt splenic injury: multi-institutional study in Osaka, Japan.	J Trauma Acute Care Surg 75(3):417-420, 2013
183	Tanaka Y	Department of Rheumatology and General Internal Medicine	A case of apoplectic lymphocytic hypophysitis complicated by polymyalgia rheumatica.	Rheumatol Int 33(1): 215-218, 2013. 2.214
184	Uehara R	Department of Gastroenterology and Hepatology	Characteristics of gastrointestinal symptoms and function following endoscopic submucosal dissection and treatment of the gastrointestinal symptoms using rikkunshito.	Exp Ther Med 6(5):1083-1088, 2013
185	Isomoto H	Department of Gastroenterology and Hepatology	Endocytoscopic findings of lymphomas of the stomach.	BMC Gastroenterol 13(1):174,2013
186	Isomoto H	Department of Gastroenterology and Hepatology	Management of complications associated with endoscopic submucosal dissection/ endoscopic mucosal resection for esophageal cancer.	Dig Endosc 25(Suppl-1):29-38, 2013
187	Kawasaki E	Department of Metabolism/Diabetes and Clinical Nutrition	Diagnostic criteria for acute-onset type 1 diabetes mellitus (2012): Report of the Committee of Japan Diabetes Society on the Research of Fulminant and Acute-onset Type 1 Diabetes Mellitus.	Diabetol Int 4 (4): 221-225, 2013
188	Kawasaki E	Department of Metabolism/Diabetes and Clinical	Sequential elevation of autoantibodies to thyroglobulin and glutamic acid decarboxylase in type 1 diabetes.	World J Diabetes 4(5): 227-230, 2013

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

(1)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象となる論文

番号	発表者氏名	発表者の所属	題名	雑誌名
189	Fukumoto E	Assistant professor, at the Department of Oral Health, Unit	Cessation Age of Breast-feeding and Pacifier Use is Associated With Persistent Finger-sucking.	Pediatric Dentistry, 35(7), 506-509, 2013
190	Kanda K	Department of Hospital Pharmacy	Ternary complex of plasmid DNA with protamine and γ -polyglutamic acid for biocompatible gene delivery system.	Biol Pharm Bull 36 (11): 1794-1799, 2013
191	Kodama Y	Department of Hospital Pharmacy	Safe and effective delivery of small interfering RNA with polymer- and liposomes-based complexes.	Biol Pharm Bull 36 (6): 995-1001, 2013
192	Kurosaki T	Department of Hospital Pharmacy	Secure splenic delivery of plasmid DNA and its application to DNA vaccine.	Biol Pharm Bull 36 (11): 1800-1806, 2013
193	Nakamura T	Department of Molecular Microbiology and Immunology	Efficacy of prosultiamine treatment in patients with human T lymphotropic virus type I-associated myelopathy/tropical spastic paraparesis: results from an open-label clinical trial.	BMC Med 11 (1): 182-190, 2013
194	Shimizu Y	Department of Community Medicine	Relationship between adult height and body weight and risk of carotid atherosclerosis assessed in terms of carotid intima-media thickness: The Nagasaki Islands study.	J Physiol Anthropol 32: 19, 2013
195	Shimizu Y	Department of Community Medicine	Association of arterial stiffness and diabetes with triglycerides-to-HDL cholesterol ratio for Japanese men: the Nagasaki Islands Study.	Atherosclerosis Jun, 228(2): 491-495, 2013
196	Doi H	Department of Neurobiology and Behavior	Prenatal exposure to a polychlorinated biphenyl (PCB) congener influences fixation duration on biological motion at 4-months-old: a preliminary study.	PLoS One 8(3), e59196, 2013
197	Hayashida H	Department of Oral Health	Association of periodontitis with carotid artery intima-media thickness and arterial stiffness in community-dwelling people in Japan: The Nagasaki Islands study.	Atherosclerosis Jul, 229(1): 186-191, 2013
198	Yamashita H	Second Department of Internal Medicine	Association between cystatin C and arteriosclerosis in the absence of chronic kidney disease.	J Atheroscler Thromb 20(6):548-556, 2013

小計 10

合計 198

- (注) 1 当該特定機能病院に所属する医師等が申請の前年度に発表した英語論文のうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断されるものを七十件以上記入すること。七十件以上発表を行っている場合には、七十件のみを記載するのではなく、合理的な範囲で可能な限り記載すること。
- 2 報告の対象とするのは、筆頭著者の所属先が当該特定機能病院である論文であり、査読のある学術雑誌に掲載されたものに限るものであること。ただし、実態上、当該特定機能病院を附属している大学の講座等と当該特定機能病院の診療科が同一の組織として活動を行っている場合においては、筆頭著者の所属先が大学の当該講座等であっても、論文の数の算定対象に含めるものであること(筆頭著者が当該特定機能病院に所属している場合に限る)。
- 3 「発表者の所属」については、論文に記載されている所属先をすべて記載すること。
- 4 「雑誌名」欄には、「雑誌名」「巻数・号数」「該当ページ」「出版年」について記載すること。
- 5 平成二十六年度中の業務報告において当該実績が七十件未満の場合には、平成二十六年度の改正前の基準による実績についても報告すること。

(様式第 3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

3 高度の医療技術の開発及び評価の実施体制

(1) 倫理審査委員会の開催状況

① 倫理審査委員会の設置状況	有・無
② 倫理審査委員会の手順書の整備状況	有・無
・ 手順書の主な内容 ヘルシンキ宣言その他研究等の領域に則した倫理に関する指針等の趣旨に沿った倫理的配慮を諮ることを目的とし、新規申請に係る手続き・臨床研究実施中及び終了時の手続き・臨床研究に係る利益相反審査に係る手続等について記載している。	
③ 倫理審査委員会の開催状況	年 1 2 回

(注) 1 倫理審査委員会については、「臨床研究に関する倫理指針」に定める構成である場合に「有」に○印を付けること。

2 「③倫理審査委員会の開催状況」に係る報告については、平成二十六年度中の業務報告において開催実績が無い場合には、平成二十六年四月以降の実績を報告しても差し支えないこと（その場合には、その旨を明らかとすること）。

(2) 利益相反を管理するための措置

① 利益相反を審査し、適当な管理措置について検討するための委員会の設置状況	有・無
② 利益相反の管理に関する規定の整備状況	有・無
・ 規定の主な内容 臨床研究利益相反審査委員会は「臨床研究に係る利益相反審査自己申告書」により、利益相反の管理を行う。 申告書により利益相反が明らかな場合、利益相反審査委員会は、申告書に添付された臨床研究実施計画書に照らし合わせて適正な臨床研究が実施可能かどうかについて審議し、当事者への助言・指導・勧告等を行う。なお、審議に際し、関係する各倫理委員会又は治験審査委員会の意見を聴取することができる。また、必要に応じて更なる情報収集・調査及びフォローアップも行う。（「長崎大学における臨床研究に係る利益相反管理指針」より）	

③ 利益相反を審査し、適当な管理措置について検討するための委員会の開催状況	年12回
---------------------------------------	------

(注) 「③利益相反を審査し、適当な管理措置について検討するための委員会の開催状況」に係る報告については、平成二十六年度中の業務報告において開催実績が無い場合には、平成二十六年四月以降の実績を報告しても差し支えないこと(その場合には、その旨を明らかとすること)。

(3) 臨床研究の倫理に関する講習等の実施

① 臨床研究の倫理に関する講習等の実施状況	年1回
-----------------------	-----

・研修の主な内容

昨年度は東京女子医科大学 先端生命医科学研究所から講師を招聘し「ヒト幹細胞を用いる臨床研究に関する指針」についての講演会を行った。また、本年度は「再生医療等の安全性確保等に関する法律」に関して講演会を実施する予定である。なお、院内ホームページ(イントラネット)にはビデオ動画を掲載し、常時閲覧可能としている。

(注) 「①臨床研究の倫理に関する講習等の実施状況」に係る報告については、平成二十六年度中の業務報告において実施実績が無い場合には、平成二十六年四月以降の実績を報告しても差し支えないこと(その場合には、その旨を明らかとすること)。

(様式第 4)

高度の医療に関する研修を行わせる能力を有することを証する書類

1 研修の内容

長崎大学病院の「最高水準の医療を提供するとともに、人間性ゆたかな優れた医療人を育成し、新しい医療の創造と発展に貢献する。」という基本理念のもと、医師としての人間性の涵養とプライマリ・ケアの基本診療能力の修得を達成する。

2 研修の実績

研修医の人数	96人
--------	-----

(注) 前年度の研修医の実績を記入すること。

3 研修統括者

研修統括者氏名	診療科	役職等	臨床経験年数	特記事項
大園 恵幸	内科	教授	37年	
阿比留 教生	内科	准教授	24年	
中村 英樹	内科	講師	22年	
白石 裕一	内科	助教	15年	
辻野 彰	内科	教授	25年	
西野 友哉	内科	教授	17年	
河野 茂	内科	教授	40年	
中尾 一彦	内科	教授	31年	
前村 浩二	内科	教授	28年	
宮崎 泰司	内科	教授	28年	
有吉 紅也	内科	教授	28年	
永安 武	外科	教授	27年	
山之内 孝彰	外科	助教	18年	

江口 晋	外科	教授	22年	
高槻 光寿	外科	講師	20年	
尾崎 誠	外科	教授	23年	
平野 明喜	外科	教授	39年	
松尾 孝之	外科	准教授	25年	
江石 清行	外科	教授	31年	
小澤 寛樹	精神科	教授	29年	
森内 浩幸	小児科	教授	30年	
宇谷 厚志	皮膚科	教授	32年	
酒井 英樹	泌尿器科	教授	31年	
増崎 英明	産婦人科	教授	37年	
北岡 隆	眼科	教授	31年	
原 哲也	麻酔科	教授	22年	
高橋 晴雄	耳鼻いんこう科	教授	37年	
上谷 雅孝	放射線科	教授	33年	
田崎 修	救急科	教授	24年	
藤原 卓	歯科	教授	31年	
吉田 教明	歯科	教授	28年	
朝比奈 泉	歯科	教授	31年	

(注) 1 医療法施行規則第六条の四第一項又は第四項の規定により、標榜を行うこととされている診療科については、必ず記載すること。

(注) 2 内科について、サブスペシャリティ領域ごとに研修統括者を配置している場合には、すべてのサブスペシャリティ領域について研修統括者を記載すること。

(注) 3 外科について、サブスペシャリティ領域ごとに研修統括者を配置している場合には、すべてのサブスペシャリティ領域について研修統括者を記載すること。

(様式第 4)

高度の医療に関する研修を行わせる能力を有することを証する書類

4 医師、歯科医師以外の医療従事者等に対する研修

① 医師、歯科医師以外の医療従事者に対する研修の実施状況（任意）
・研修の主な内容 : 看護部専門コース 摂食嚥下リハビリテーションについて ・研修の期間・実施回数 平成25年7月31日～平成25年12月11日（全5回） ・研修の参加人数 : 延べ 110名
・研修の主な内容 : 看護部専門コース 緩和ケアについて ・研修の期間・実施回数 平成25年6月12日～平成25年12月11日（全7回） ・研修の参加人数 : 延べ 183名
・研修の主な内容 : 看護部専門コース がん化学療法について ・研修の期間・実施回数 平成25年6月25日～平成25年11月26日（全6回） ・研修の参加人数 : 延べ 76名
・研修の主な内容 : 看護部専門コース 治験の理解と看護師の役割について ・研修の期間・実施回数 平成25年6月20日～平成25年11月21日（全5回） ・研修の参加人数 : 延べ 19名
・研修の主な内容 : 看護部専門コース 継続看護（基礎習得コース）について ・研修の期間・実施回数 平成25年6月10日～平成25年12月28日（全5回） ・研修の参加人数 : 延べ 99名
・研修の主な内容 : 看護部専門コース 継続看護（アドバンコース）について ・研修の期間・実施回数 平成25年6月3日～平成25年12月28日（全5回） ・研修の参加人数 : 延べ 5名
・研修の主な内容 : 看護部専門コース 放射線看護について ・研修の期間・実施回数 平成25年6月20日～平成25年12月19日（全7回） ・研修の参加人数 : 延べ 93名

① 医師、歯科医師以外の医療従事者に対する研修の実施状況（任意）
<ul style="list-style-type: none"> ・研修の主な内容 : 看護部専門コース 褥創対策について ・研修の期間・実施回数 平成25年6月26日～平成25年11月20日（全6回） ・研修の参加人数 : 延べ 65名
<ul style="list-style-type: none"> ・研修の主な内容 : 看護部専門コース 糖尿病ケアについて ・研修の期間・実施回数 平成25年6月14日～平成26年1月27日（全7回） ・研修の参加人数 : 延べ 78名
<ul style="list-style-type: none"> ・研修の主な内容 : 看護部専門コース 感染管理について ・研修の期間・実施回数 平成25年6月27日～平成25年12月19日（全6回） ・研修の参加人数 : 延べ 130名
<ul style="list-style-type: none"> ・研修の主な内容 : 看護部専門コース 認知症看護について ・研修の期間・実施回数 平成25年6月20日～平成25年12月19日（全6回） ・研修の参加人数 : 延べ 29名
<ul style="list-style-type: none"> ・研修の主な内容 : 看護部専門コース ファーストエイドについて ・研修の期間・実施回数 平成25年7月23日～平成25年10月22日（全4回） ・研修の参加人数 : 延べ 24名
<ul style="list-style-type: none"> ・研修の主な内容 : 看護部専門コース 急変対応シミュレーション ・研修の期間・実施回数 平成25年6月28日～平成25年10月25日（全5回） ・研修の参加人数 : 延べ 44名

② 業務の管理に関する研修の実施状況
<ul style="list-style-type: none"> ・ 研修の主な内容 ・ 研修の期間・実施回数 ・ 研修の参加人数
③ 他の医療機関に所属する医療関係職種に対する研修の実施状況
<ul style="list-style-type: none"> ・ 研修の主な内容 ・ 研修の期間・実施回数 ・ 研修の参加人数

(注) 1 高度の医療に関する研修について記載すること。

(注) 2 「③他の医療機関に所属する医療関係職種に対する研修の実施状況」については、医療法施行規則第六条の四第四項の規定に基づき、がん、循環器疾患等の疾患に関し、高度かつ専門的な医療を提供する特定機能病院についてのみ記載すること。また、日本全国の医療機関に勤務する医療従事者を対象として実施した専門的な研修を記載すること。なお、平成二十六年度中の業務報告においては、平成二十六年四月以降の実績（計画）を報告しても差し支えないこと（その場合には、その旨を明らかにすること）。

(様式第 5)

診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の管理方法に関する書類

計画・現状の別	1. 計画 (2.) 現状
管理責任者氏名	病院長 増崎 英明
管理担当者氏名	放射線部長 上谷 雅孝 感染制御教育センター長 泉川 公一 総務課長 浜村 博 医療支援課長 砂山 優智 薬剤部長 佐々木 均 ME機器センター長 林 誠 医事課長 横山 哲也

	保管場所	管理方法
診療に関する諸記録 病院日誌、各科診療日誌、処方せん、手術記録、看護記録、検査所見記録、エックス線写真、紹介状、退院した患者に係る入院期間中の診療経過の要約及び入院診療計画書	各診療科	病院日誌は総務課、処方せんは薬剤部、エックス線写真は放射線部、その他は各診療科・電子カルテ及びカルテ室で管理・保管している
病院の管理及び運営に関する諸記録	高度の医療の提供の実績	医事課
	高度の医療技術の開発及び評価の実績	医事課
	高度の医療の研修の実績	総務課
	閲覧実績	総務課, 医事課
	紹介患者に対する医療提供の実績	医療支援課
	入院患者数、外来患者及び調剤の数を明らかにする帳簿	医事課, 薬剤部
第規一則号第一に掲げる十の十一の第一項の各号及び第九の二十第一項	医療に係る安全管理のための指針の整備状況	医療支援課
	医療に係る安全管理のための委員会の開催状況	医療支援課
	医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	医療支援課
	医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況	医療支援課
	専任の医療に係る安全管理を行う者の配置状況	医療支援課
	専任の院内感染対策を行う者の配置状況	医療支援課
	医療に係る安全管理を行う部門の設置状況	医療支援課
	当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況	医療支援課

		保管場所	管理方法
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則第一條の十一第一項各号及び第九條の二十三第一項第一号に掲げる体制の確保の状況	院内感染のための指針の策定状況	感染制御教育センター，医療支援課
		院内感染対策のための委員会の開催状況	感染制御教育センター，医療支援課
		従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	感染制御教育センター，医療支援課
		感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の実施状況	感染制御教育センター，医療支援課
		医薬品の使用に係る安全な管理のための責任者の配置状況	薬剤部
		従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	薬剤部
		医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	薬剤部
		医薬品の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	薬剤部
		医療機器の安全使用のための責任者の配置状況	ME機器センター
		従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	ME機器センター
		医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	ME機器センター
	医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	ME機器センター	

(注)「診療に関する諸記録」欄には、個々の記録について記入する必要はなく、全体としての管理方法の概略を記入すること。また、診療録を病院外に持ち出す際に係る取扱いについても記載すること。

(様式第 6)

病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法に関する書類

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法

計画・現状の別	1. 計画	2. 現状	
閲覧責任者氏名	事務部長 鳥居 時政		
閲覧担当者氏名	総務課長 浜村 博		
閲覧の求めに応じる場所	総務課		
閲覧の手続の概要 長崎大学広報戦略本部において「独立行政法人等の保有する情報の公開に関する法律」に基づき法人文書開示請求手続きを行っている。			

(注) 既に医療法施行規則第 9 条の 20 第 5 号の規定に合致する方法により記録を閲覧させている病院は現状について、その他の病院は計画について記載することとし、「計画・現状の別」欄の該当する番号に○印を付けること。

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧の実績

前年度の総閲覧件数		延	0 件
閲覧者別	医師	延	件
	歯科医師	延	件
	国	延	件
	地方公共団体	延	件

(注) 特定機能病院の名称の承認申請の場合には、必ずしも記入する必要はないこと。

(様式第 6)

規則第 1 条の 1 1 第 1 項各号及び第 9 条の 2 3 第 1 項第 1 号に掲げる体制の確保の状況

① 医療に係る安全管理のための指針の整備状況	有・無
・ 指針の主な内容： ○医療安全管理に関する基本的考え方 ○医療事故防止委員会及びその他の組織に関する基本的事項 ○医療安全管理のための職員研修に関する基本方針 ○事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策に関する基本方針 ○医療事故発生時の対応に関する基本方針 ○医療従事者と患者との間の情報の共有に関する基本方針 ○患者等からの相談への対応に関する基本方針 ○その他医療安全の推進のために必要な基本方針	
② 医療に係る安全管理のための委員会の開催状況	年 2・4 回
・ 活動の主な内容： ○医療事故防止委員会 (月 1 回開催) ・ 院内インシデント・アクシデント報告等情報収集 ・ 医療事故防止のための具体的対策等の検討及び推進 ・ 医療事故防止のための教育及び研修等の決定 ○リスクマネージャー会議 (月 1 回開催) ・ インシデント・アクシデントレポートの分析の報告	
③ 医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	年 7 回
・ 研修の主な内容：別紙のとおり (安全管理職員研修会 4 回) (KYT研修会 3 回)	
④ 医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況	
・ 医療機関内における事故報告等の整備 (有・無) ・ その他の改善のための方策の主な内容：別紙のとおり	
⑤ 専任の医療に係る安全管理を行う者の配置状況	有 (3 名) ・ 無
⑥ 専任の院内感染対策を行う者の配置状況	有 (5 名) ・ 無
⑦ 医療に係る安全管理を行う部門の設置状況	有・無
・ 所属職員： 専任 (3) 名 兼任 (1 0) 名	

<ul style="list-style-type: none"> ・ 活動の主な内容： <ul style="list-style-type: none"> ○医療事故防止委員会の運営支援 ○リスクマネージャーとの連絡調整 ○安全管理に関する情報の収集 ○インシデントレポートの分析 ○安全管理に関する教育・研修 ○事故等に関する確認と指導 	
⑧ 当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況	(有) 無

(様式第6)

院内感染対策のための体制の確保に係る措置

① 院内感染対策のための指針の策定状況	(有) 無
<ul style="list-style-type: none"> ・ 指針の主な内容： <ol style="list-style-type: none"> <li style="width: 50%;">1) 院内感染対策委員会の設置 <li style="width: 50%;">2) 職員研修の実施 <li style="width: 50%;">3) 病院感染発生時の対応 <li style="width: 50%;">4) 院内感染対策マニュアルの策定 <li style="width: 100%;">5) 院内感染防止に関する患者への情報提供と説明 <li style="width: 100%;">6) その他の病院における院内感染対策の推進 <p style="text-align: right; margin-top: 10px;">以上について明記している。</p> 	
② 院内感染対策のための委員会の開催状況	年 1 1 回
<ul style="list-style-type: none"> ・ 活動の主な内容： <p>耐性菌の発生状況、手指衛生遵守状況、蓄尿率、公開ICTラウンド等の報告、承認を行う。 委員長：病院長、他委員数10名、計11名全員の出席をもって開催される。</p> 	
③ 従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	年 3 回
<ul style="list-style-type: none"> ・ 研修の主な内容： <ul style="list-style-type: none"> ○第1回院内感染対策講習会：1. 抗MRSA薬の使い方 2. 抗MRSA薬の使い方～薬剤師の立場から～ 3. 鳥(新型)インフルエンザ～現在の状況、発生時の当院での対応～ ○第2回院内感染対策講習会：快適で衛生的な院内環境を保つために ○第3回院内感染対策講習会：1. 咳エチケットとは、2. 結核の常識 3. 当院のルール～2013年の変更点 <p>その他、清掃、看護補助業務を行うものに対しては年に1回程度別途実習を行っている。</p> 	
④ 感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の状況	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 病院における発生状況の報告等の整備 (有) 無) ・ その他の改善のための方策の主な内容： <p>院内で検出された耐性菌、無菌検体からの微生物検出状況は毎朝の会議にて微生物検査室から報告がある。</p> 	

インフルエンザやノロウイルス、結核など伝染性疾患に関する塗抹情報や抗原検出状況はリアルタイムに報告がある。
以上のうち、院内感染対策上重要な微生物が検出された場合はその都度検出された部署へ赴き、実際の感染対策を指導している。それらは記録として保存している。
また、週に1回は病棟、外来、中央診療棟などを多職種からなるICTチームでラウンドし、感染対策の現状の把握とon the job trainingを実践している。

(様式第6)

医薬品に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医薬品の使用に係る安全な管理のための責任者の配置状況	有・無
② 従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	年 2 回
<p>・ 研修の主な内容：</p> <ul style="list-style-type: none">○ 「院内製剤の取り扱いについて」 (講師：薬剤部製剤室長) 実施日：平成25年7月16日、イントラネット動画研修、受講人員：1846人 (81%)○ 「副作用被害救済制度について」 (講師：独立行政法人医薬品医療機器総合機構) 実施日：平成26年3月24日、イントラネット動画研修、受講人員：1082人 (46%)	
③ 医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	
<p>・ 手順書の作成 (有・無)</p> <p>・ 業務の主な内容：</p> <ol style="list-style-type: none">1. 医薬品の採用・購入に関する事項2. 医薬品の管理に関する事項 (購入～薬剤部内の管理)3. 患者に対する医薬品の投薬指示から調剤に関する事項4. 患者に対する服薬指導に関する事項5. 医薬品の安全使用に係る情報の取扱い6. 病棟、中央診療部門における医薬品の管理7. 他施設 (病院等、薬局等) との連携に関する事項8. 輸血・血液管理担当部門と責任者の設置等9. 薬剤投与のための機器使用10. 放射性医薬品の管理11. 臨床検査薬の管理12. 造影剤の管理、使用13. 院内製剤の取り扱いについて14. 当該手順書の順守状況の確認 <p>実施状況：年1回順守状況のチェックを各部署で行い、その内容を医薬品安全管理責任者がすべて確認している。問題があれば改善のための指導を行う。</p>	
④ 医薬品の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	
<p>・ 医薬品に係る情報の収集の整備 (有・無)</p> <p>・ その他の改善のための方策の主な内容：</p> <p>【収集方法】 医薬品の採用時には、添付文書他、IF、文献等を収集している。添付文書等の改訂については、各メーカーのMRから連絡、DSUなどの発信について確認を行い、最新の添付文書等を入手するようにしている。</p> <p>【周知方法】 改訂された情報の全てを、薬剤部各部署へ文書で通知を行っている。また、病棟、診療科 (診療科長、医局長)、中央診療部 (部長、副部長等) に対しては、緊急安全性情報、DSU、医薬品医療機器等安全性情報、DI newsの情報発信を行っている。 緊急安全性情報は、当該医薬品を使用している医師に電子カルテのコミュニケーション機能、口頭にて周知を図っている。 また、薬剤部イントラネットには、薬剤部より発信した医薬品の安全使用に関わる情報の記録を、全て確認できるように掲載している。院内医薬品情報検索システム (DICS) には改訂された添付文書の情報が更新されるまで、新しい添付文書のPDFファイルを掲載している。</p>	

(様式第 6)

医療機器に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医療機器の安全使用のための責任者の配置状況	有・無
② 従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	年23回
<ul style="list-style-type: none">研修の主な内容： 有効性・安全性に関する事項、使用方法に関する事項、保守点検に関する事項、 不具合が発生した場合の対応に関する事項、使用に関して特に法令上遵守すべき事項など	
③ 医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	
<ul style="list-style-type: none">計画の策定 (有・無)保守点検の主な内容：メーカーが推奨する性能試験、電気的安全試験などを実施	
④ 医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	
<ul style="list-style-type: none">医療機器に係る情報の収集の整備 (有・無)その他の改善のための方策の主な内容： 日本医療機能評価機構やPMDAなどからの情報を収集し、RMニュースとして各リスク マネージャーへ周知している。また、ME機器センターホームページへも掲載している。 機器の取扱説明書や添付文書を院内どこからでも閲覧可能としている。	

(様式第7)

専門性の高い対応を行う上での取組みに関する書類 (任意)

1 病院の機能に関する第三者による評価

① 病院の機能に関する第三者による評価の有無	有・無
<ul style="list-style-type: none">・日本医療機能評価機構 病院機能評価認定取得 (2003年3月17日～)・ISO9001 認証取得 (2004年12月8日～)・NPO法人イージェーネット 働きやすい病院評価認定取得 (2011年9月1日～)・NPO法人卒後臨床研修評価機構 卒後臨床研修評価認定取得 (2014年3月1日～)	

(注) 医療機能に関する第三者による評価については、日本医療機能評価機構等による評価があること。

2 果たしている役割に関する情報発信

① 果たしている役割に関する情報発信の有無	有・無
<ul style="list-style-type: none">・ホームページ上に、病院の医療に関する情報を病院評価指標として54項目 (高度な医療の提供、難治性疾患の治療、看護師の養成、薬剤師の養成、コメディカルの養成、臨床試験、最後の砦、医療情報の提供、医師派遣) についてその実績を公開している。・ホームページ上に各診療科が行っている診療実績と内容について公開している。・患者向け病院広報誌「ボンペだより」において、「医療最前線」として各診療科における最新の医療について紹介している。	

3 複数の診療科が連携して対応に当たる体制

① 複数の診療科が連携して対応に当たる体制の有無	有・無
<ul style="list-style-type: none">・複数の診療科が連携して対応に当たる体制の概要 <p>救命救急センター内に、脳神経内科医・脳神経外科医・救命救急医及び多職種の専門スタッフから構成される脳卒中ユニットを設置し、専門性の高い医療を提供している。</p>	

(様式第9)

長大総第537号
平成26年10月2日

九州厚生局長 殿

開設者名 国立大学法人
長崎大学長 片峰 茂 (印)

長崎大学病院に関する変更について

標記について、医療法施行令(昭和23年政令第326号)第4条の3の規定に基づき、以下のとおり変更があったので届け出ます。

名 称
変更があった事項及びその内容
病院管理者の変更(平成26年10月1日付にて変更)
(変更前) 病院長 河野 茂
(変更後) 病院長 増崎 英明

- (注) 1 必要がある場合は続紙に記載して添付すること。
2 開設者名の記入箇所及び「名称」欄には、変更があった場合は、変更後のものを記入すること。
3 「変更があった事項及びその内容」欄には、変更があった事項を明らかにした上で、その事項についての変更のみを、変更前と変更後の内容を区別して下記により記入すること。

- ① 開設者の氏名及び名称の変更については、変更前のもののみを記載することとしても差支えない。
② 診療科名の変更の場合は、医療法施行規則第6条の4に掲げる診療科名をそれ以外の診療科名よりも先に記入し、削除又は追加された診療科名に下線を付すこと。
③ 集中治療室、無菌病室等又は医薬品情報管理室の構造設備の変更については、承認申請書に記載することとされている事項に係る変更のみを変更前と変更後のそれぞれを区別して記入すること。なお、集中治療室、無菌病室等又は医薬品情報管理室を有しなくなった場合にはその旨を記載し、固定式の無菌病室や専用の医薬品情報管理室を新たに設けたなどの場合には承認申請書に記載することとされているものと同じ事項について記入すること。

(記載例: 50床増床し、集中治療室にペースメーカーを導入した場合)

病床数

変更前: 550床

変更後: 600床

集中治療室に備える機器

変更前: 人工呼吸装置、心電計、心細動除去装置

変更後: 人工呼吸装置、心電計、心細動除去装置、ペースメーカー